

熊本都市圏総合交通計画協議会 第4回 委員会

令和6年 5月30日（木）

本日の内容

1. 要綱の改定について

2. これまでの協議会について

3. 実態調査（パーソントリップ調査）結果

（1）回収結果

（2）調査結果

①本体調査

②付帯調査

③補完調査

（3）公表方法

4. 今後のスケジュール

2. これまでの協議会について

- 令和7年度の都市交通マスタープラン策定に向け協議会を設置。
- 令和4年度から5年度は主に実態調査に向けた審議を実施。

全体スケジュール

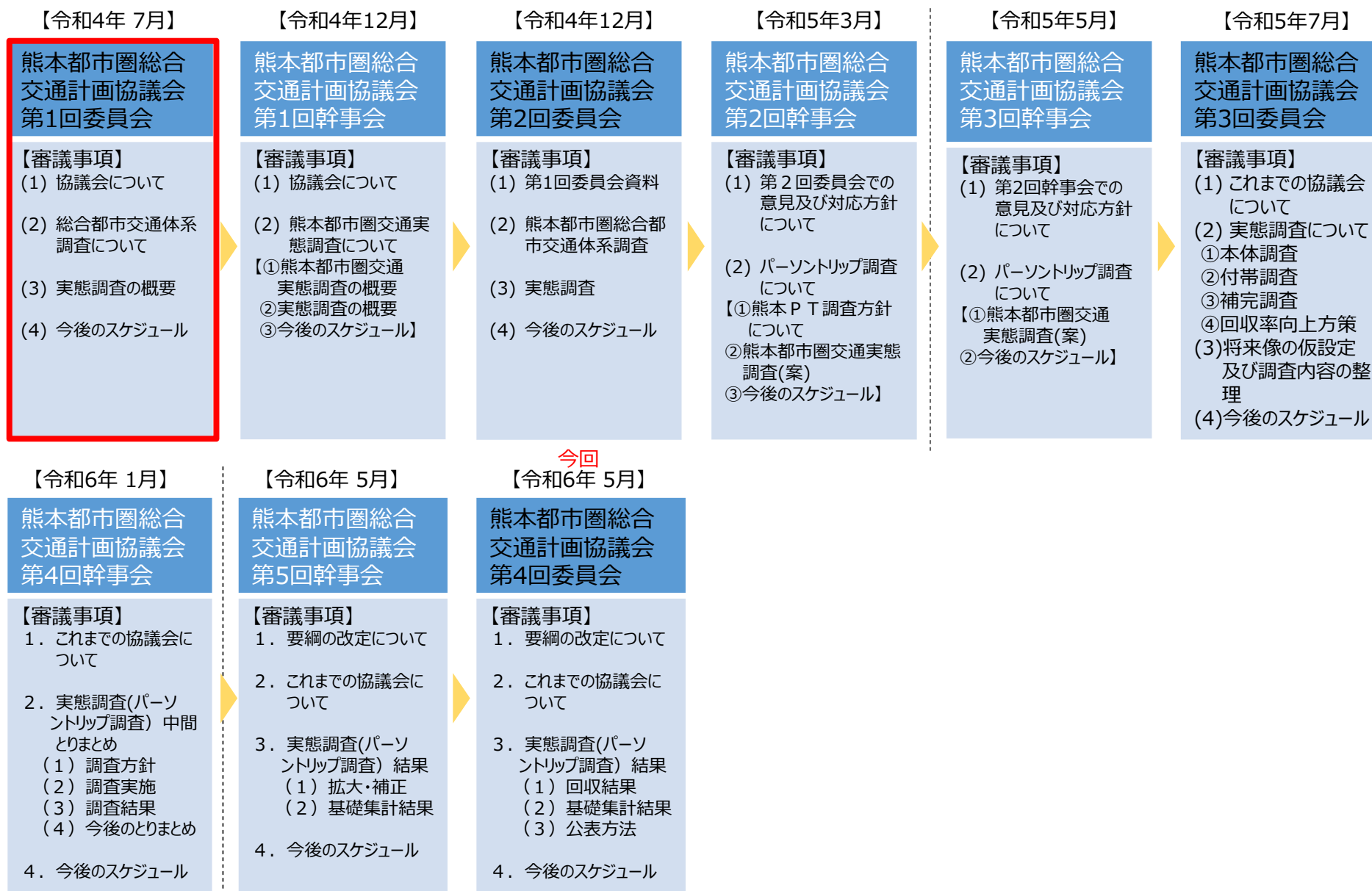


協議会スケジュール

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
主な内容	<ul style="list-style-type: none">これまでの都市交通MP実態調査の背景と目的調査方法等	<ul style="list-style-type: none">調査票の設計調査実施調査結果中間とりまとめ	<ul style="list-style-type: none">調査結果現況分析・将来予測
実施協議会	<ul style="list-style-type: none">第1回委員会(令和4年7月)第1回幹事会(令和4年12月)第2回委員会(令和4年12月)第2回幹事会(令和5年3月)	<ul style="list-style-type: none">第3回幹事会(令和5年5月)第3回委員会(令和5年7月)第4回幹事会(令和6年1月)	<ul style="list-style-type: none">第5回幹事会(令和6年5月)第4回委員会(令和6年5月)

2. これまでの協議会について

これまでの協議会での審議事項



2. これまでの協議会について

熊本都市圏総合交通計画協議会 第1回委員会の概要

■実施日

令和4年（2022年）7月7日（木）

■主な審議事項

・協議会要綱 ・これまでの総合都市交通体系調査 ・今回調査の背景及び目的 など

資料 1

熊本都市圏総合都市交通計画協議会要綱（案）

（名称）

第1条 本会は、熊本都市圏総合都市交通計画協議会（以下「協議会」という。）と称する。

（目的）

第2条 協議会は、熊本都市圏（以下「都市圏」という。）における望ましい交通のあるべき姿を目指して、関係機関相互により総合的な都市交通に関する検討及び協議を行うことを目的とする。

（協議事項）

第3条 協議会は、前条の目的を達成するため、次の事項について検討及び協議する。

（1）これまでの総合都市交通体系調査

2）これまでの総合都市交通体系調査の概要

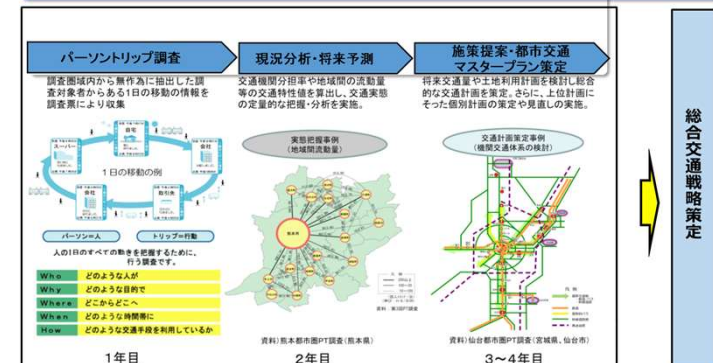
	第1回	第2回	第3回	第4回
実施調査年	S48	S59	H9	H24
調査地域	熊本市を中心とする 1市9町	熊本市を中心とする 2市18町1村	熊本市を中心とする 2市14町1村	熊本市を中心とする 5市6町1村
都市圏人口	約57万人	約87万人	約98万人	約104万人
主な提案施策	<p>・都市内幹線道路： ①九州縦貫道 ②熊本北バイパス ③熊本東バイパス ④菊陽バイパス</p> <p>・都市内幹線道路： ⑤近見沖幹線 ⑥熊本駅北部線 ⑦熊本駅新幹線 ⑧新外環線 など</p> <p><長期的構想> ・船場神水線、野口清水線、本荘御幸線 など</p> <p>・熊本駅～都心部、東部地区の専用軌道化 ・バスターミナル （熊本駅、水前寺駅通り、健康付近） ・バスターミナルを中心とするバス路線網の再編 ・水前寺駅のターミナル化</p> <p><長期的構想> ・豊肥本線と熊本電鉄が結ぶ鉄道</p>	<p>・西回り道路（仮称）、熊本駅池上線、保田窪築路線、御嶽秋津線、国道3号（熊本、高合区）、国道57号（大津～阿蘇郡） など</p> <p>・新幹線道路：熊本環状道路、熊本天草幹線道路、中九州横断道路、有明海沿岸道路</p> <p>・幹線道路網・街路：（都）上熊本細工町線、春日池上線、（仮）新水前寺町山線</p> <p>・新駅の設定 （東海宇都宮線、近見駅、熊本工大前駅、新水前寺駅（市電との乗り継ぎ利便性向上含む）、弓削駅、橋駅）</p> <p>・市電の地下化 （交通局前～熊本駅前、水道町前～藤崎宮前）</p> <p>・連続立体化 （鹿児島線、豊肥本線）</p> <p>・ターミナル（熊本駅、神水）</p>	<p>・豊後幹線道路：熊本環状道路、熊本天草幹線道路、中九州横断道路、有明海沿岸道路</p> <p>・幹線道路網・街路：（都）上熊本細工町線、春日池上線、（仮）新水前寺町山線</p> <p>・新たな基幹公共交通ネットワークの整備 （熊本空港方面、熊本港方面、市、長崎方面 など）</p> <p>・市電のRTT化</p> <p>・熊本電鉄の高機能化 （車両のLRV化）</p> <p>・相互乗り入れ （JR・熊本電鉄・市電）</p> <p>・バス専用レーン、公共交通優先信号、バス接近表示システムの整備</p> <p>・乗り継ぎ割引制度の導入 など</p>	<p>・2環状線11放射道路網 <環状道路> （都）上熊本～南線、（都）池田町花間線、熊本西環状道路、国道57号熊本東バイパス など</p> <p>・放射道路 ・国道3号熊本バイパス、中九州横断道路、熊本天草幹線道路、有明海沿岸道路 など</p> <p>・基幹公共交通8軸の整備 ・熊本市電 ・既存区間の機能強化 （多高機能化 など）</p> <p>・延伸 （益城・空港方面、田崎城山方面 など）</p> <p>・熊本電鉄 ・既存区間の機能強化 （運行本数 など）</p> <p>・路線バス ・乗降拠点整備（各方面）</p>

など

（1）これまでの総合都市交通体系調査

1）パーソントリップ調査とは

- パーソントリップ調査は、自転車・バス・自動車・鉄道等の交通手段別の人の動きを定量的に把握するもの。
- 公共交通計画や道路交通計画など、様々な計画策定で必要となる基礎データとなる。



（3）今回調査の背景及び目的

背景

- 第4回調査から約10年が経過し、
 - ・人口減少や高齢化の進展、慢性的な交通渋滞などの継続的な課題
 - ・熊本地震で大きな交通環境の変化が生じたことによるマスタープランの進捗状況の確認や交通の防災機能強化への対応
 - ・交通に関する施設整備（熊本駅周辺整備、サクラマチクマモト等）、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う新しい生活様式、ICT等の新技術、様々な計画の策定（新広域道路交通計画、大空構想Next Stage等）などの社会情勢の変化
- により交通状況に大きな変化が生じている。

目的

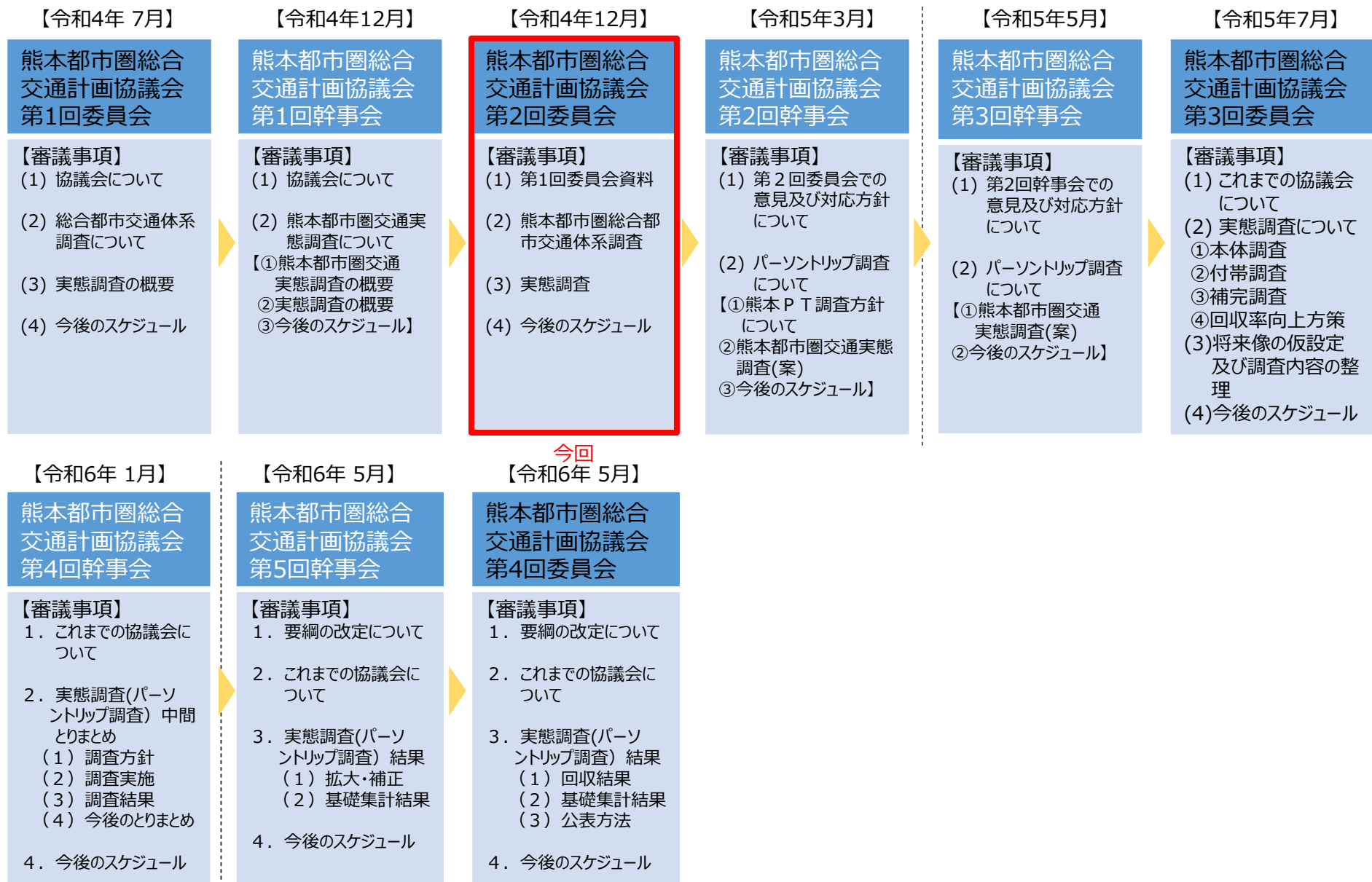
- 将来の都市圏交通のあり方を提案するにあたり、現況分析・将来予測及び現在のマスタープランの検証を行い、社会情勢の変化に対応した施策の見直しを行うため、交通実態を把握するための調査を実施するもの。

7

4

2. これまでの協議会について

これまでの協議会での審議事項



2. これまでの協議会について

熊本市圏総合交通計画協議会 第2回委員会の概要

■実施日

令和4年（2022年）12月23日（金）

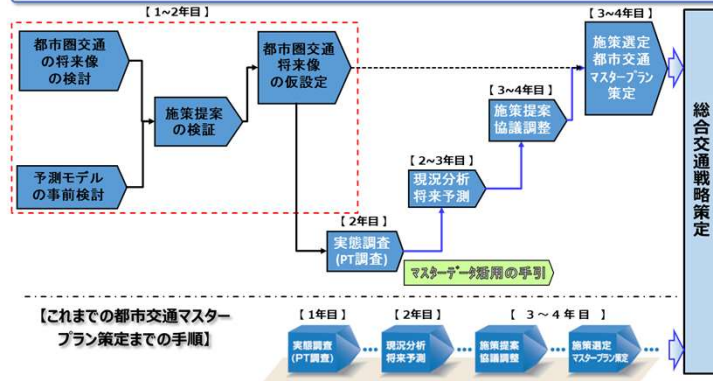
■主な審議事項

・交通体系調査の手順 ・調査対象エリア ・目標サンプル数及び調査方法 ・予測モデル など

（6）熊本市圏総合都市交通体系調査の手順

1) 熊本市圏総合都市交通体系調査の手順

○今回調査は、これまでの都市交通マスタープラン策定までの手順と異なり、事前に都市圏交通の将来像を仮設定し、施策に向けた調査項目を設定しながら実態調査方針を決定。



（2）目標サンプル数及び調査方法

- 調査対象者：対象市町村に居住する世帯のうち、国勢調査から無作為抽出した約44,300世帯の5歳以上の方
- 調査方法：郵送配布、Web回収
- 目標サンプル数：約25,140人（R2国勢調査 5歳以上人口 1,047,199人×約2.4%＝25,138人）
- 配布世帯数：約44,300世帯（25,140人÷2.27人/世帯÷25%（回収率）＝44,292世帯）

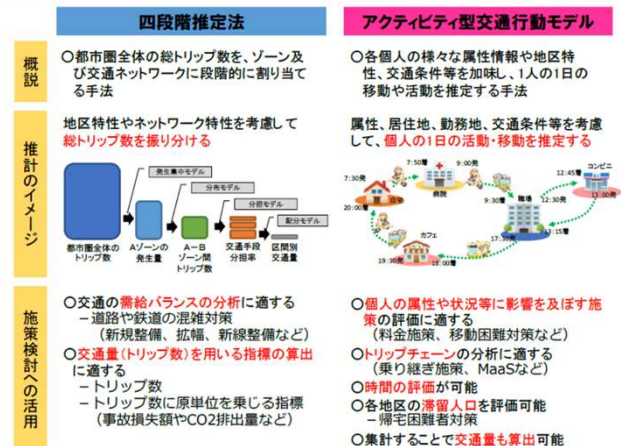
考え方	
<p>「総合都市交通体系調査の手引き(案) (2007年9月 国土交通省都市・地域整備局都市計画課都市交通調査室)」をもとに必要な抽出率を設定し、目標とするサンプル数を算出</p>	
<p>精度については、公共交通利用数等の施設利用数等の比較により、市町村を確定することを確認</p>	
必要抽出率	
区分	必要抽出率
OD精度	行政区 (12×12) 手段別 (5) のOD値
属性別トリップパターン	属性 (12) ×トリップパターン (11)
発生交通量	熊本都市圏内(153) 目的別 (4) の発生交通量
発生交通量	熊本都市圏内(179) 目的別 (4) の発生交通量
必要抽出率=2.4%	
総トリップ数=291万トリップ/日	
カテゴリ数=720	
カテゴリ区分	
▼生成車単位の属性・手段別・時間帯別のカテゴリ	▼トリップパターンの属性
▼トリップパターンの属性	▼トリップパターンの属性

（1）調査対象エリア

- ・実態調査の対象市町村は、前回調査と同様に、熊本市との結びつき（通勤・通学の割合等）の強い5市6町1村とする。
- ・調査対象エリアは、菊池市、宇城市で拡大。

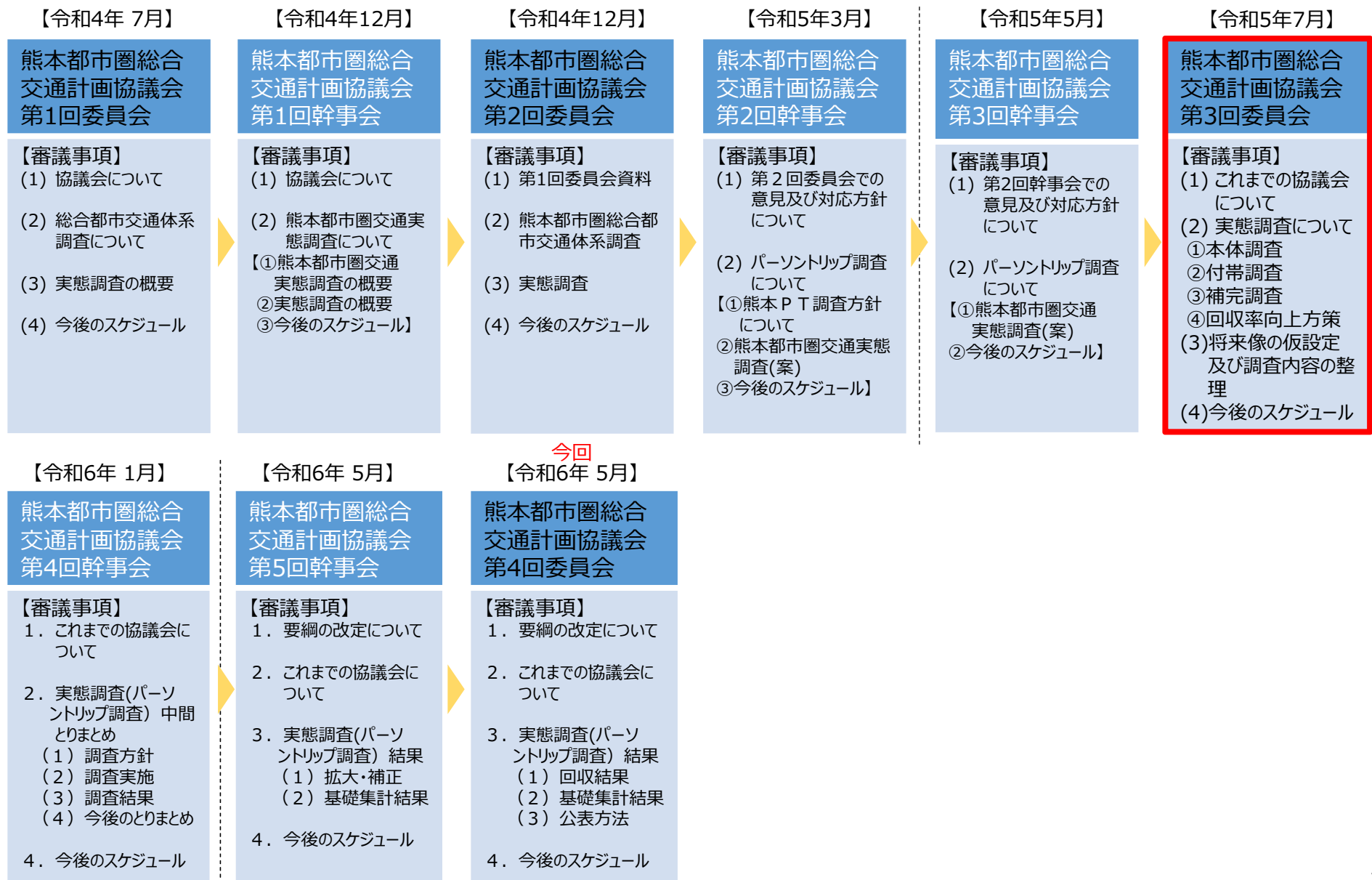


（3）予測モデル ～従来分析手法との違い～



2. これまでの協議会について

これまでの協議会での審議事項



2. これまでの協議会について

熊本都市圏総合交通計画協議会 第3回委員会の概要

■実施日

令和5年（2023年）7月21日（金）

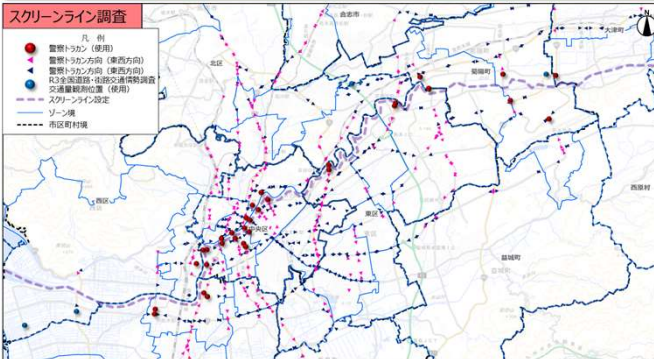
■主な審議事項

・調査票の設計 ・調査方法 ・回収率向上方策 ・将来像の仮設定 など

（3）補完調査（スクリーンライン調査）

スクリーンライン調査

- 白川以外でのスクリーンラインについて検討。
- 警察トラフィックカウンターやR3年度全国道路・街路交通情勢調査交通量観測位置は主要道路に設置されており、その道路はほぼ白川を渡河するため、今回も白川をスクリーンラインに設定することが有効と判断。



（3）補完調査（着地調査）

着地調査

- 将来のOD分布を検討するため、着地点（通学・通勤先）となりうる学校や企業における人の動きを把握。
- 学校で働く教員や学生、企業で働く従業員等に対してパーソントリップ調査への協力を依頼し、WEB調査を実施（本体調査のみ）。



▲着地調査対象企業等位置図

■調査の対象

- ①東海大学阿蘇くもと臨空キャンパス（学生約900人）
- ②セミンテクノパーク内の企業（従業員数1,000人以上の企業）
- ③アイシン九州㈱（従業員約1,000人）

■調査実施時期

令和5年10月下旬（本体調査第3ロット配布後）
（行動回答期間：第3ロットと同期間とする。）

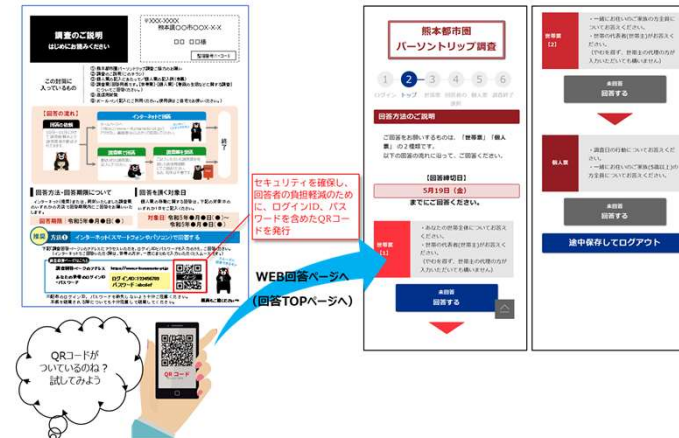
■調査方法

- ①上記で対象とする学校及び企業に調査依頼
- ②調査実施依頼を学校及び企業から学生、職員、従業員に周知いただき、本体調査のみをWEBから回答

（4）回収率向上方策（対象者の負担軽減）

- スマートフォン、タブレットによる回答者の負担軽減のため、ログインID、パスワードを含めたQRコードを生成。

■スマートフォン回答ページ（ログイン画面イメージ、抜粋）



（4）回収率向上方策（Web回答率の向上）

- 前回の熊本PT調査では、調査票一式にボールペンを同封。
- 今回は、紙での回答者、WEB回答者それぞれに謝礼を進呈する方式を採用。

■前回同等とした場合のインセンティブ予算額

＝約550万円
（約58,000世帯×94円）
・前回H24PT調査では、調査票配布時に、くまモンロゴ入りボールペンを同封

■今回、回答者に対してのみインセンティブを付与

＝Web回答者
約7,500人×(100円+75円)+50万円＝約180万円
・紙回答者
約17,400人×(94円+53円)＝約260万円

	前回	今回
紙媒体回答者	調査票一式にボールペン同封（対象世帯に一律送付）	回答者のみボールペンを進呈
WEB回答者	調査票一式にボールペン同封（対象世帯に一律送付）	選べるギフト券を進呈（100円分）
費用	約550万円	約440万円
メリット	・全対象者に平等な謝礼を進呈 ・前回同様の謝礼を進呈	・紙媒体回答者、WEB回答者ともに謝礼が進呈 ・WEB回答促進に寄与 ・回答者が任意のギフト券を選択可能
デメリット	・未回答者に謝礼を送付するため回答者へのメリットなし	・進呈方法はメールが基本であるが、現物（ギフト券）を進呈の場合は、カード作成費、郵送費が別途費用が発生

■ボールペンイメージ



■選べるギフト券イメージ



2. これまでの協議会について

これまでの協議会での審議事項



2. これまでの協議会について

熊本都市圏総合交通計画協議会 第4、5回幹事会の概要

■実施日

令和6年（2024年）1月29日（月）、令和6年（2024年）5月17日（金）

■主な審議事項

・調査結果中間とりまとめ ・調査結果（暫定版） ・今後のとりまとめ ・調査結果など

（2）調査実施

- ・本体調査は30,243票の回収（必要標本数25,108票）。
- ・WEB回答の割合は34.4%（目標：30.0%、前回：9.0%）。

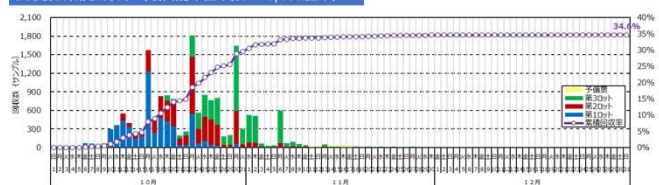
本体調査の実施工程及び配布・回収状況

	①最終配布世帯数	②郵送回収数	③WEB回収数	④合計回収数(②+③)	⑤回収率(④/①)	⑥WEB割合率(③/④)	⑦調査票回収数
第1回	15,901	3,756	1,926	5,681	35.7%	33.9%	9,909
第2回	15,838	3,579	1,883	5,457	34.5%	34.5%	9,918
第3回	15,836	3,573	1,846	5,413	34.2%	34.1%	9,754
予備票	1,084	155	139	293	27.1%	47.3%	662
合計	48,659	11,063	5,794	16,857	34.6%	34.4%	30,243

回答種別

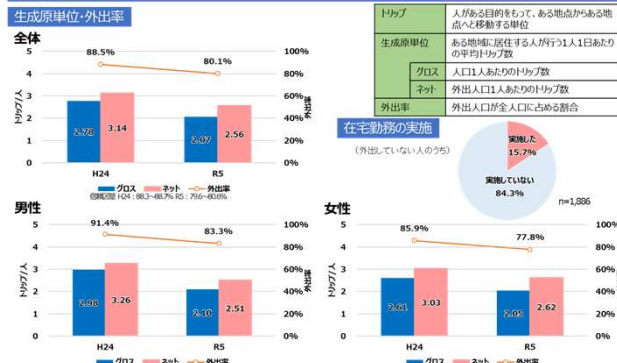


回収数・累積回収率（最終配布世帯数：48,659世帯）



（3）調査結果（暫定版）

- ・生成原単位は2.07、外出率は80.1%とともに減少。性別にみても同様の傾向。外出していない人の約16%が在宅勤務を実施。



3. 実態調査結果（1）拡大・補正

第4回幹事会（令和6年1月29日）資料

- ・調査結果について、熊本都市圏人口に合うように拡大処理が必要。

熊本都市圏の拡大イメージ



3. 実態調査結果（1）拡大・補正

- ・サンプル特性等を考慮し、性年代別区分及びゾーン区分を一部統合した拡大層区分を設定して拡大係数を算出。

性・年代別の拡大層区分の設定

性別	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80
男性	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80
女性	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80

生活圏ゾーン区分（33区分）



統合した層区分のサンプル特性

統合した層	サンプル特性
5～14歳	中学生以下の生徒、児童が主であり、自市区町村で通学が多いと想定。トリップ数、移動目的も男性女性での傾向が同様。
15～24歳	高校生、大学生、短大生、専門学校生等や社会人が滞在する年代。男性、女性の移動目的も概ね同様な傾向。
25～29歳	通勤目的による移動割合が増え、男女ともに同様な傾向。
30～69歳	男性、女性において移動目的で差異がみられる年代となっており、トリップ数の傾向も異なる。
70～80歳以上	トリップ数、移動目的も男性女性での傾向が同様。

2. これまでの協議会について

これまでの協議会での審議事項



本日の内容

1. 要綱の改定について
2. これまでの協議会について
3. 実態調査（パーソントリップ調査）結果
 - (1) 回収結果
 - (2) 調査結果
 - ① 本体調査
 - ② 付帯調査
 - ③ 補完調査
 - (3) 公表方法
4. 今後のスケジュール

3. 実態調査（1）回収結果

- メインとなる本体調査、頻度や意向について確認する付帯調査、本体調査を補完する補完調査の3つの調査を実施。

■ 本体調査

⇒ 誰が、いつ、どこに、何の目的で、どのような交通手段で移動したかについて把握するために実施

■ 付帯調査

⇒ 各々の都市圏の計画課題にあわせて、必要な調査を実施

■ 補完調査

⇒ 本体調査を補完する目的で、道路断面の交通量や空港・駅の乗降客数および移動の実態を把握するために調査を実施

- 本体調査は、世帯票により世帯構成、5歳以上を対象に、個人票により個人の1日の動き等について調査を実施。

●本体調査

- ① 世帯票 ② 個人票

●調査方法

- ①郵送 ②WEB

世帯票

[illegible][illegible]

WEB

[illegible]

- ・付帯調査は、16歳以上を対象に、本体調査では把握できない普段の生活などに関する調査（私事活動の頻度等）を実施。

●付帯調査

●調査方法

①郵送 ②WEB

調査内容

1. 最近（概ね1か月）の私事活動（買物、通院、食事・社交・娯楽）の状況について

・実施頻度

・主な目的地（2つまで）

・主な交通手段（2つまで）

2. モバイル端末の利用状況について

・モバイル端末の所有状況

・主に使用するモバイル端末

- ・モバイル端末で行うこと

3. ここ1ヶ月の外出頻度（平日、休日）などについて

・5年前との外出頻度を比べての増減

・現在の外出日数

・外出する頻度が減少した理由

4. 公共交通を利用する際の困りごとについて

・公共交通利用時の困りごとの有無

・困りごとの具体的内容

・今後、身近にあったらよい移動支援サービス（上位3つ）

5. 熊本都市圏の交通に関する理想の要望、現在感じる問題について

[illegible]

3. 実態調査（1）回収結果

- 令和5年（2023年）10～11月に調査を実施。
- 事前に各種広報により、周知を実施。

		9月				10月				11月				
		4~10	11~17	18~24	25~1	2~8	9~15	16~22	23~29	30~5	6~12	13~19	20~26	27~3
本体調査 付帯調査							調査日 第1ロット 11日（水） ~ 12日（木）	調査日 第2ロット 17日（火） ~ 19日（木）	調査日 第3ロット 24日（火） ~ 26日（木）			調査日 予備票 14日（火） ~ 16日（木）		
補完調査	コードン ライン調査							★ 調査日 17日（火）						
	着地調査											調査日 14日（火） ~ 16日（木）		
広報		←→												
		←→ HP												
		←→ SNS												
		★ 街頭PR 17日（火）												
		←→ ポスター・チラシ・デジタルサイネージ												
		←→ テレビ・ラジオ												
		←→ 広報誌												

3. 実態調査（1）回収結果

- 各種媒体を活用した広報を実施。
- ポスター・チラシ、テレビ・ラジオ、街頭PR、SNS、広報誌。

ポスター・チラシによる広報

熊本都市バス：
熊本県立体育館前⇒
桜町バスターミナル



JR熊本駅
在来線口



熊本市電
電停 デジタルサイネージ



テレビ・ラジオによる広報

＜テレビ＞

9月30日（土）若っランド内 CM
10月 2日（月）ネプリーグ内 CM
10月 5日（木）こんばんは熊本市
10月 6日（金）くまモン☆ナビ内 CM



＜ラジオ＞

9月13日（水）県庁ダイアリー
11月 4日（土）声の市政だより



出典：こんばんは熊本市（熊本市）

街頭PR

10月4日（水）15時～15時20分
熊本市 下通アーケードにて実施
チラシ配布枚数：154枚



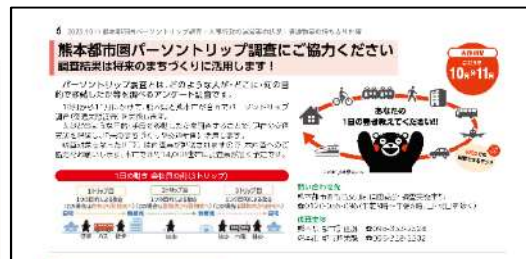
SNSによる広報

パーセントリッパ調査の開始
に関する投稿



出典：X（旧Twitter）

広報誌による広報



出典：市政だより2023年10月号（熊本市）



出典：広報かしま
2023年9月号（嘉島町）

3. 実態調査（1）回収結果

- 熊本都市圏5歳以上人口約104.6万人のうち、必要標本数25,108票を確保するため、約10万票の調査票を配布（配布世帯は約5万世帯）。

	居住人口 (R5.7.1)	5歳以上人口 (R5.7.1)	世帯数 (R5.7.1)	5歳以上 世帯構成数 (R5.7.1)	必要標本率	必要 標本数	有効 世帯数	設定 回収率	調査対象 世帯票(配布)	調査対象 個人票(配布)	予備率	標本数	予備数 (世帯)	予備数 (個人)
	a	b	c	d=b/c	e	f=b*e	g=f/d	h	i=g/h	j=i*d	k	l=i*(k+1)	m=l-i	n=j*k
熊本市	730,666	700,750	357,118	1.96	2.40%	16,818	8,571	25.00%	34,283	67,272	20.00%	41,140	6,857	13,454
宇土市	36,397	34,988	15,963	2.19	2.40%	840	383	25.00%	1,532	3,359	20.00%	1,839	306	672
合志市	64,055	60,644	25,886	2.34	2.40%	1,455	621	25.00%	2,485	5,822	20.00%	2,982	497	1,164
大津町	35,897	34,183	15,822	2.16	2.40%	820	380	25.00%	1,519	3,282	20.00%	1,823	304	656
菊陽町	42,945	40,527	18,536	2.19	2.40%	973	445	25.00%	1,779	3,891	20.00%	2,135	356	778
西原村	6,921	6,682	2,943	2.27	2.40%	160	71	25.00%	283	641	20.00%	339	57	128
御船町	17,109	16,439	7,492	2.19	2.40%	395	180	25.00%	719	1,578	20.00%	863	144	316
嘉島町	10,124	9,540	4,087	2.33	2.40%	229	98	25.00%	392	916	20.00%	471	78	183
益城町	33,728	32,129	14,186	2.26	2.40%	771	340	25.00%	1,362	3,084	20.00%	1,634	272	617
甲佐町	10,191	9,867	4,425	2.23	2.40%	237	106	25.00%	425	947	20.00%	510	85	189
宇城市	57,166	55,202	25,131	2.20	2.40%	1,325	603	25.00%	2,413	5,299	20.00%	2,895	483	1,060
菊池市	46,869	45,229	20,069	2.25	2.40%	1,085	482	25.00%	1,927	4,342	20.00%	2,312	385	868
都市圏計	1,092,068	1,046,180	511,658	2.04	2.40%	25,108	12,280	25.00%	49,119	100,433	20.00%	58,943	9,824	20,087

都市圏
5歳以上人口

必要標本数

配布世帯数 調査票配布数

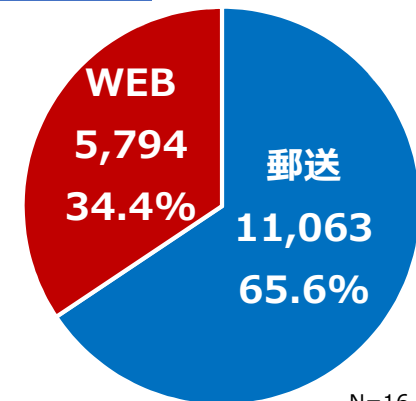
3. 実態調査（1）回収結果

- 本体調査は30,243票の回収（必要標本数25,108票）。
- WEB回答の割合は34.4%（目標：30.0%、前回：9.0%）。

本体調査の実施工程及び配布・回収状況

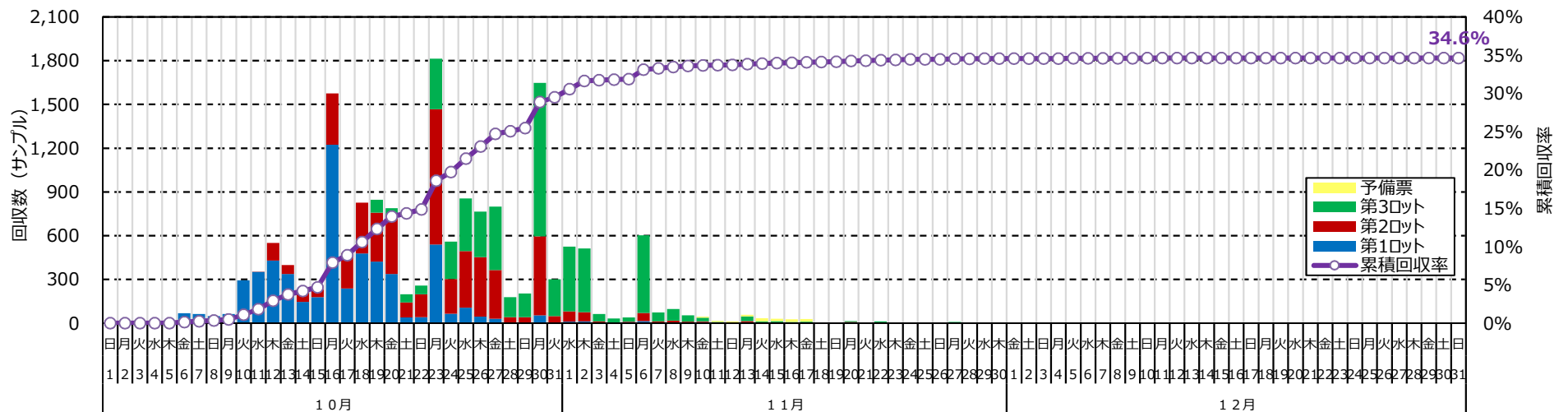
	①最終 配布世帯数	②郵送 回収数	③WEB 回収数	④合計回収数 (②+③)	⑤回収率 (④/①)	⑥WEB回答率 (③/④)	⑦調査票 回収数
第1ロット	15,901	3,756	1,926	5,681	35.7%	33.9%	9,909
第2ロット	15,838	3,579	1,883	5,457	34.5%	34.5%	9,918
第3ロット	15,836	3,573	1,846	5,413	34.2%	34.1%	9,754
予備票	1,084	155	139	293	27.1%	47.3%	662
合計	48,659	11,063	5,794	16,857※1	34.6%	34.4%	30,243

回答種別



※提示した回収数、回収率は、速報値として集計。今後、回答内容の精査を踏まえ、集計値が変更する可能性あり。
※1郵送回答とWEB回答が重複している31世帯を含む

回収数・累積回収率（最終配布世帯数：48,659世帯）



3. 実態調査（1）回収結果

- 付帯調査の回収数27,816票。
- 本体調査（30,243票）よりやや低い。

付帯調査 配布・回収状況

市町村名	付帯調査（16歳以上世帯員対象）			
	①最終配布数	②回収数（郵送）	③回収数（WEB）	④回収数（総数） （②＋③）
熊本市	60,174	12,587	6,641	19,228
菊池市	4,384	798	270	1,068
宇土市	2,985	701	270	971
宇城市	4,963	1,084	390	1,474
合志市	4,903	993	479	1,472
大津町	2,860	499	284	783
菊陽町	3,351	585	452	1,037
西原村	603	124	48	172
御船町	1,420	290	124	414
嘉島町	788	153	73	226
益城町	2,748	502	215	717
甲佐町	884	218	36	254
都市圏計	90,063	18,534	9,282	27,816

3. 実態調査（1）回収結果

- コードライン調査は、JR熊本駅、阿蘇くまもと空港（国内線）で乗降客数調査、OD調査等を実施。
- 現地でのヒアリングに加え、ハガキやWEBでのアンケート調査も実施。
- JR熊本駅で665票、阿蘇くまもと空港で582票の回答が得られた。

項目	乗降客数調査	OD調査	交通機関別利用者数調査
調査予定時期	令和5年10月17日（火）	令和5年10月17日（火）	令和5年10月17日（火）
調査箇所	①熊本駅（新幹線口1箇所、在来線口1箇所、新幹線⇄在来線改札1箇所） ②阿蘇くまもと空港（国内線出発口1箇所、国内線到着口1箇所）	①熊本駅（新幹線口1箇所、在来線口1箇所、新幹線⇄在来線改札1箇所） ②阿蘇くまもと空港（国内線出発口1箇所、国内線到着口1箇所）	①阿蘇くまもと空港（単路部1箇所、駐車場出口3箇所、各乗降場6箇所）
調査方法	<計測分類> 乗車、降車別人数 <観測方法> 人手観測	<調査方法> 現地ヒアリング調査 アンケート調査（ハガキ） アンケート調査（WEB）	<計測分類> 交通機関別乗降車別人数 <観測方法> 人手観測
回収数 (OD調査)	—	①熊本駅：合計665票 ②阿蘇くまもと空港：合計582票	—



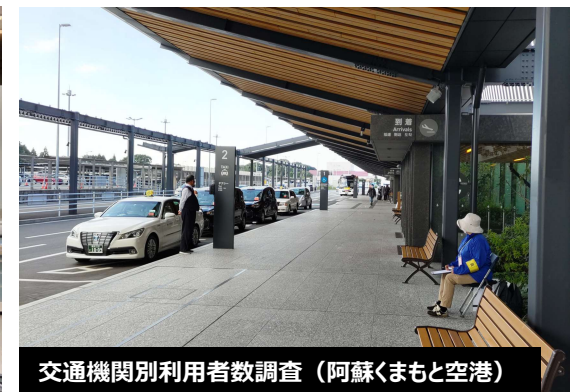
乗降客数調査（阿蘇くまもと空港）



乗降客数調査（JR熊本駅）



OD調査（阿蘇くまもと空港）



交通機関別利用者数調査（阿蘇くまもと空港）

3. 実態調査（1）回収結果

- 着地調査は、東海大学及びセミコンテクパーク内の従業員1,000人以上の企業を対象に実施。
- フリー調査は、本体調査対象外の方を対象に協議会HPから回答可能なフォームを開設。
- 着地調査は計424票、フリー調査は52票の回答が得られた。

着地調査の実施概要



▲着地調査対象企業等位置図

■調査の対象

- ①東海大学（農学部） 約700名
- ②セミコンテクパーク対象企業 約10,000名

■回答数

- ①東海大学（農学部） 0票
- ②セミコンテクパーク各社 424票

本体調査（フリー回答）の実施概要



▲協議会HPの本体調査（フリー回答）開設

■調査の対象

熊本都市圏内に居住されている方

■回答数

52票（世帯票）

3. 実態調査（1）回収結果（その他）

- 本体調査全配布世帯にボールペンを進呈。
- WEB回答者にデジタルギフト券を進呈。

本体調査のインセンティブ

ボールペン（本体調査に同封）



デジタルギフト券（100円分）

EJOICA【イジョイカ】
セレクトギフト

入力したEJOICAセレクトギフトIDの内容を確認いただき、登録(交換)可能な電子マネーを選んでください。

お持ちのギフトIDの内容確認

EJOICAセレクトギフトID	金額
EJOICAセレクトギフトID	100 円

登録有効期間

電子マネーの選択

登録(交換)可能な電子マネーは13種類です。

Amazonギフトカード
amazon gift card
100円分→100円分
有効期限：交換後 約10年
登録サイトへ

nanaco
100円分→100円分
有効期限：なし
登録サイトへ

WAONポイント
電子マネー WAON ポイント
100円分→100ポイント
有効期限：なし
登録サイトへ

Apple Gift Card
Apple IDの金額はこちら
100円分→100円分
有効期限：なし
登録サイトへ

Google Play ギフトコード
100円分→100円分
有効期限：なし
登録サイトへ

NET CASH
NET CASH NTTカードソリューション
100円分→100円分
有効期限：なし
登録サイトへ

dポイント
100円分→90ポイント
有効期限：交換後 48か月後の月末
登録サイトへ

Pontaポイント
100円分→100ポイント
有効期限：最終利用日から1年
登録サイトへ

楽天Edy
100円分→100円分
有効期限：交換後 60日
登録サイトへ

PayPayマネー ライト
100円分→90円分
有効期限：なし
登録サイトへ

モバイルSuica
100円分→100円分
有効期限：交換後 180日
登録サイトへ

apollostation キャッシュアップリカ
100円分→100円分
有効期限：最終利用日から1年
登録サイトへ

出典（株）NTTカードソリューション

回収数増加
Web回答割合増加

【Web回答割合増加による効果】

約400万円のコスト縮減
・調査票集計作業減
・データチェック等負担軽減

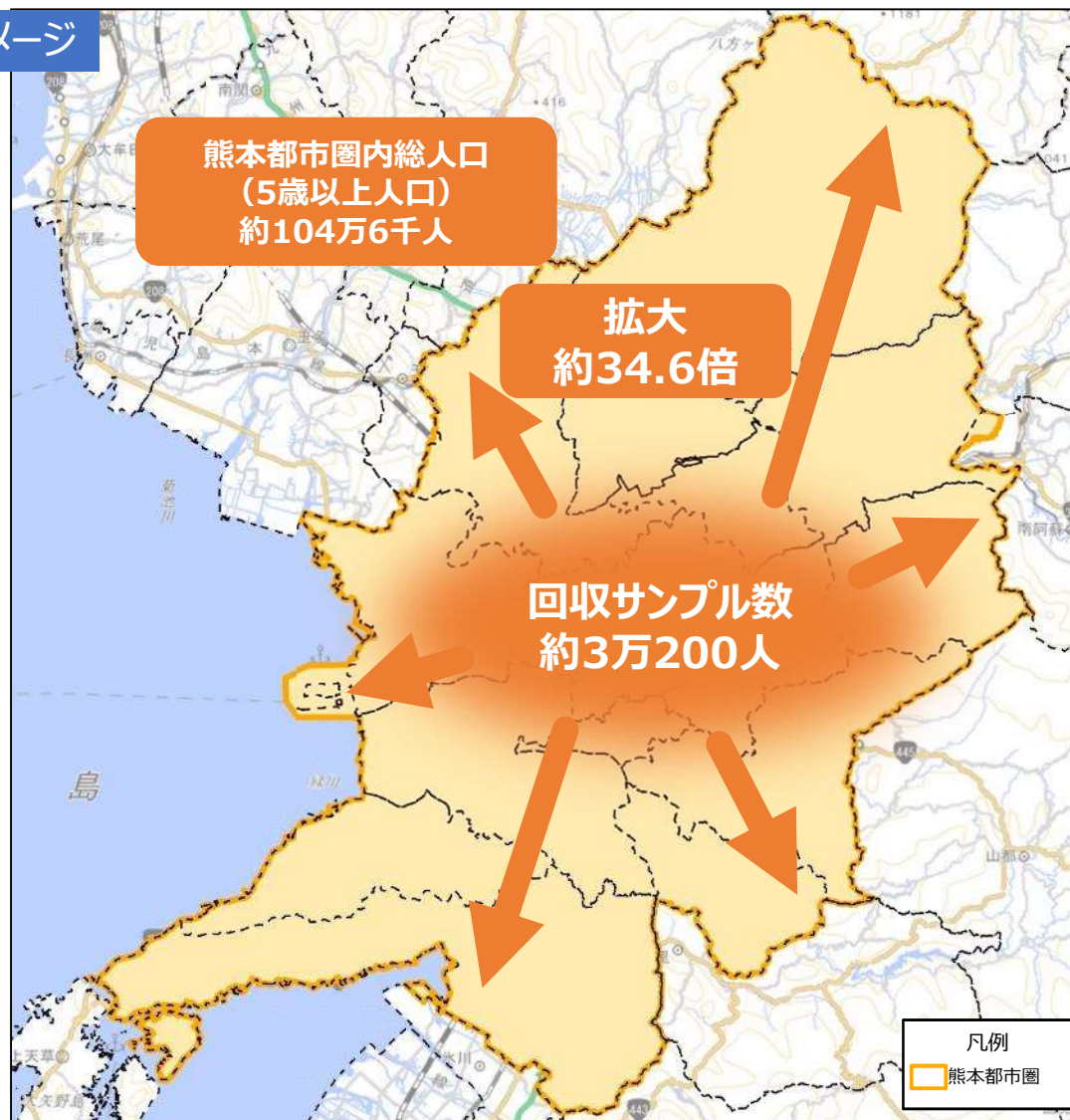
本日の内容

1. 要綱の改定について
2. これまでの協議会について
3. 実態調査（パーソントリップ調査）結果
 - (1) 回収結果
 - (2) 調査結果
 - ① 本体調査
 - ② 付帯調査
 - ③ 補完調査
 - (3) 公表方法
4. 今後のスケジュール

3. 実態調査（2）調査結果

- 調査結果について、熊本都市圏人口に合うように拡大処理が必要。

熊本都市圏の拡大イメージ



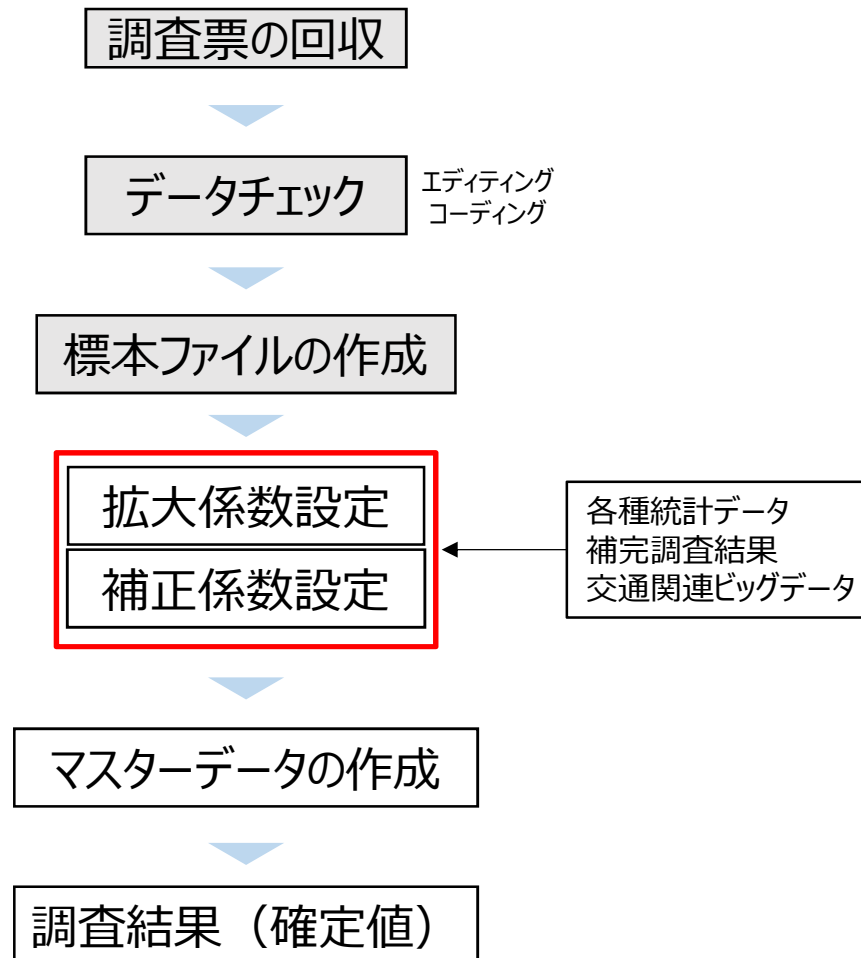
3. 実態調査（2）調査結果

- ・ 本体調査と同様に着地調査、フリー回答を実施。回収状況について整理。
- ・ 標本率をより向上させるために、本体調査に加え、着地調査、フリー回答結果を追加。

市区町村名	本体調査		着地調査	フリー回答		合計
	世帯数	個人数	個人数	世帯数	個人数	個人数
熊本市中央区	2,905	5,079	32	4	6	5,117
熊本市東区	2,786	5,343	68	4	6	5,417
熊本市西区	1,404	2,562	6	6	11	2,579
熊本市南区	1,754	3,540	9	2	5	3,554
熊本市北区	2,022	3,995	43	5	8	4,046
菊池市	517	1,065	8	1	1	1,074
宇土市	471	976	0	0	0	976
宇城市	744	1,466	3	2	6	1,475
合志市	450	1,589	55	2	7	1,651
大津町	418	837	39	2	5	881
菊陽町	555	1,122	111	1	1	1,234
西原村	83	176	4	0	0	180
御船町	198	387	0	0	0	387
嘉島町	120	258	0	0	0	258
益城町	365	743	5	1	4	752
甲佐町	178	237	0	0	0	237
合計	14,970	29,375	383	30	60	29,818
標本率	—	2.81%	0.04%	—	0.01%	2.85%

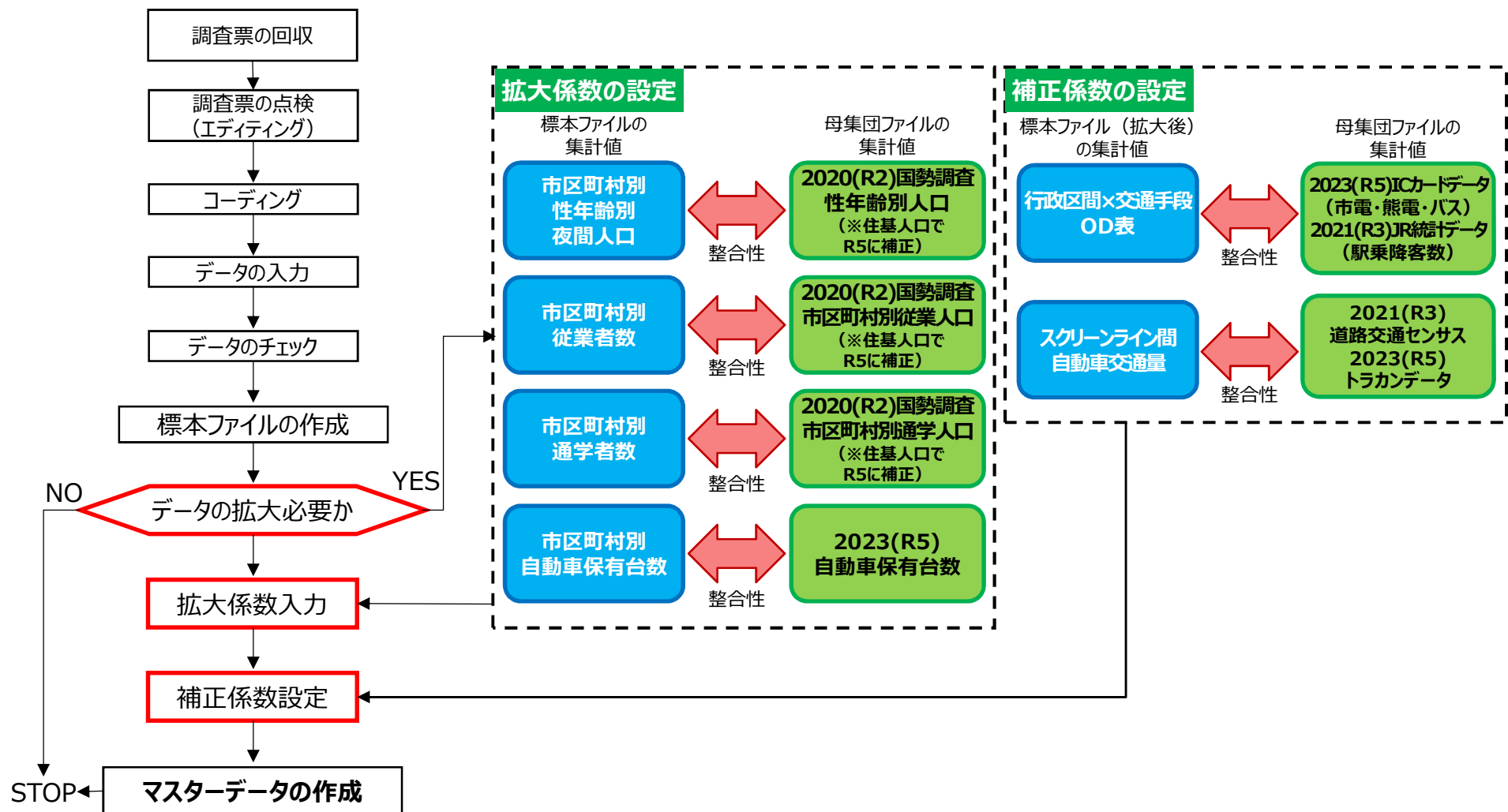
3. 実態調査（2）調査結果

- 回収した調査票を用いて、各種統計データをもとに拡大し、補完調査結果等により補正処理を行う。



3. 実態調査（2）調査結果

- データの拡大は、国勢調査、住民基本台帳等から整合的な係数を設定。
- 拡大後、交通手段（乗降客数、ICカードデータ、断面交通量等）を、各種データから整合的な補正係数を設定。



3. 実態調査（2）調査結果

- サンプルデータが都市圏全体となるように拡大係数を設定。

拡大係数のイメージ（市町村別性年齢別夜間人口の例）

母数
(夜間人口)

熊本市中央区の
男性（15歳未満）の
人口



... **9,938**人

回収
サンプル数

熊本市中央区の
男性（15歳未満）の
サンプル数合計



... **324**人

$$\text{拡大係数} = 9,938\text{人} \div 324\text{人} = 30.7$$

※拡大係数**30.7**とは、1サンプルを拡大後に**31人分**として扱うことである。

3. 実態調査（2）調査結果

・夜間人口、従業者数、通学者数、自動車保有台数全てで一致率が高いものを採用

拡大係数算定ケース一覧

ケース No	ケース概要	性年代別人口	従業者人口	通学者人口	自動車保有台数
		住民基本台帳人口 (各市町村データ) 〔2023(R5)年7月〕	2020(R2)年国勢調査 第16-2表 男女、従業地・通学地 別就業者数（15歳以上） を2023(R5)年住民基本台帳 〔2023(R5)年7月〕の人口で補正	2020(R2)年国勢調査 第16-3表 男女、従業地・通学地 別通学者数（15歳以上） を2023(R5)年住民基本台帳 〔2023(R5)年7月〕の人口で補正	各県市町村別自動車保有車両数 (九州運輸局)(2023(R5)年3月末) 市区町村別軽自動車車両数 (一般社団法人 全国軽自動車協 会連合会)〔2023(R5)年3月末〕
①	性年代別人口のみで拡大	Cゾーン（227区分） 性別（2区分） 年代別（7区分）	—	—	—
②	性年代別人口のみで拡大	熊本市Bゾーン・その他B・市区町村別 （55区分） 性別（2区分） 年代別（7区分）	—	—	—
③	性年代別人口 従業者数 通学者数 自動車保有台数による拡大	熊本市Bゾーン・その他B・市区町村別 （55区分） 性別（2区分） 年代別（7区分）	自市区町村で従業（16区分） 他市区町村で従業（16区分）	自市区町村で通学（16区分） 他市区町村で通学（16区分）	市区町村別（16区分）
④	性年代別人口 従業者数 通学者数 による拡大	生活圏ゾーン区分（33区分） 性別（2区分） 年代別（7区分）	自市区町村で従業（16区分） 他市区町村で従業（16区分）	自市区町村で通学（16区分） 他市区町村で通学（16区分）	—

<従業者人口、通学者数の集計値>

統計値（従業者人口、通学者人口）は、住民基本台帳の増減率を乗じた推計値から住民基本台帳の人口をコントロールした推計値に見直しを実施。

No①～③：2020(令和2)年国勢調査の従業者数に住民基本台帳ベースの人口増減率（2020(令和2)年→2023(令和5)年）を乗じて算出

No④：2020(令和2)年国勢調査の従業者数（自市区町村で通勤、他市区町村で通勤）の構成比を2023(令和5)年住民基本台帳の性年代別人口に乘じて推計

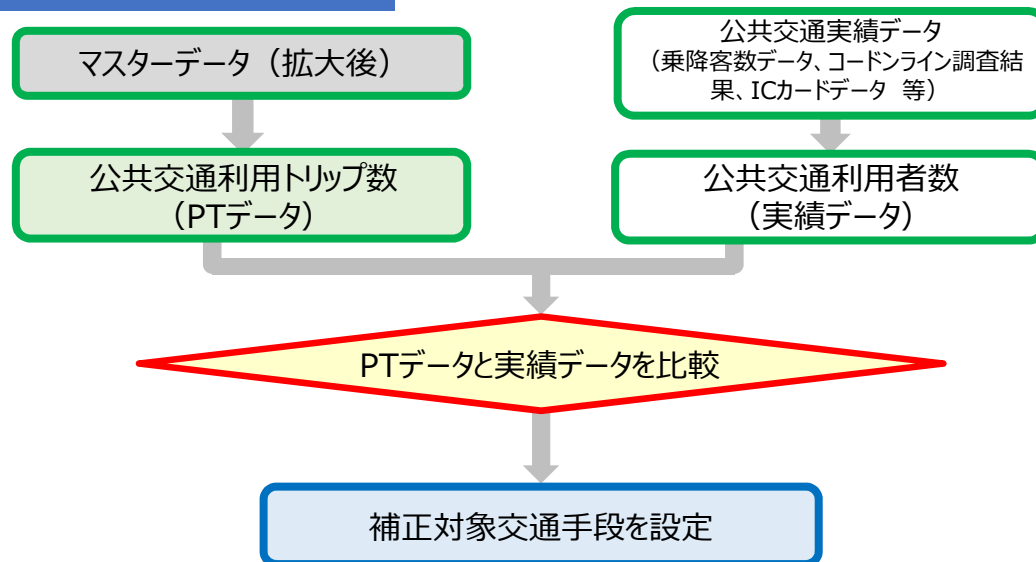
No	ケース概要	夜間人口			従業者数			通学者数			自動車保有台数		
		集計値	統計値	一致率	集計値	統計値	一致率	集計値	統計値	一致率	集計値	統計値	一致率
①	性年代別人口 のみによる拡大	1,038,040	1,046,354	99.2%	564,190	470,376	119.9%	63,567	48,898	130.0%	691,062	613,248	112.7%
②	性年代別人口 のみによる拡大	1,045,437	1,046,354	99.9%	568,480	470,376	120.9%	52,009	48,898	106.4%	696,498	613,248	113.6%
③	性年代別人口 従業者数 通学者数 自動車保有台数による拡大	961,456	1,046,354	91.9%	484,414	470,376	103.0%	53,280	48,898	109.0%	553,956	613,248	90.3%
④	性年代別人口 従業者数 通学者数 による拡大	1,044,902	1,046,354	99.9%	472,993	477,152	99.1%	47,198	49,572	95.2%	673,045	613,248	109.8%

●●：95%未満 ●●●：95～105% ●●●●：105%以上

3. 実態調査（2）調査結果

- 公共交通利用の補正は、統計値と集計値の比較の結果、熊本電鉄、熊本市電を対象。

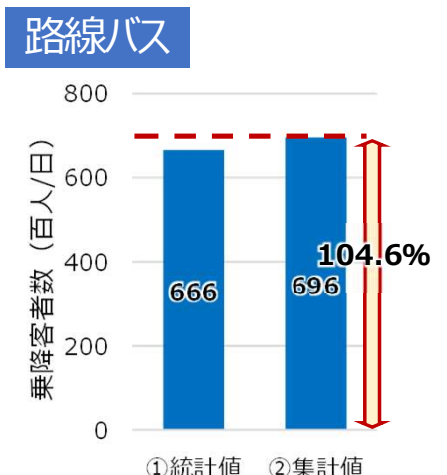
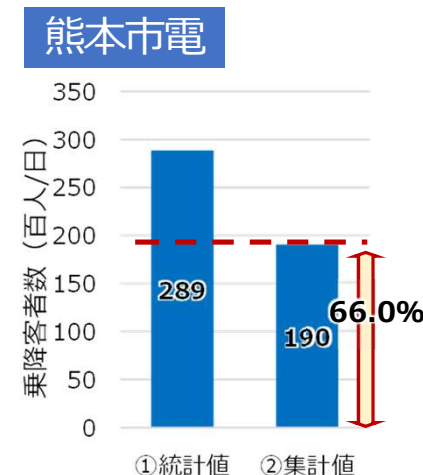
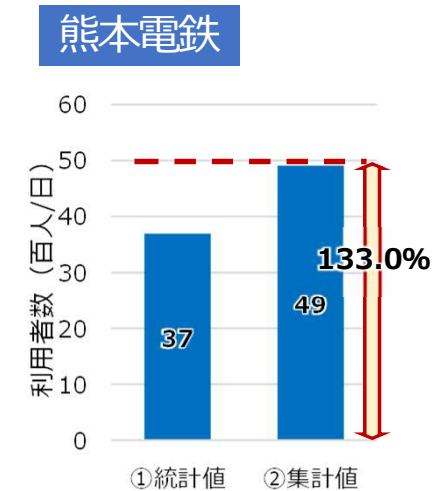
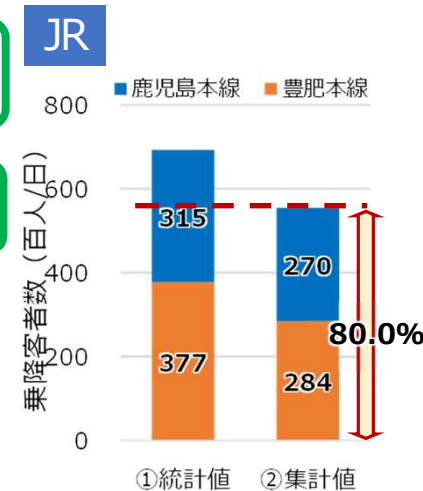
公共交通利用の補正



交通機関名		乗降客数（人/日）		一致率
		①統計値	②集計値	②/①
JR	鹿児島本線	31,513	26,960	85.6%
	豊肥本線	37,709	28,433	75.4%
	小計	69,222	55,393	80.0%
熊本電鉄		3,693	4,910	133.0%
熊本市電		28,874	19,044	66.0%
路線バス		66,557	69,590	104.6%

：補正実施対象

※JR新幹線は、熊本都市圏内々のトリップは存在しないため、補正の対象外とした。

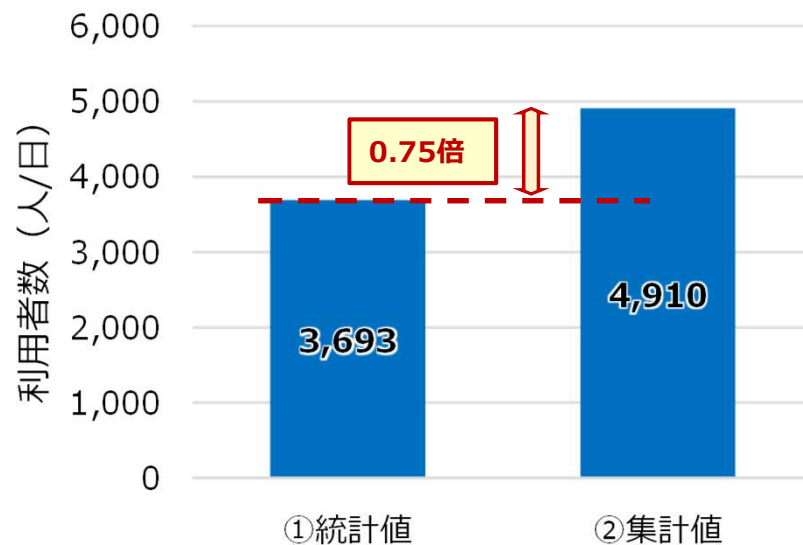


3. 実態調査（2）調査結果

- 熊本電鉄の補正係数は、利用者数から算出。→補正係数 **0.75**
- 熊本市電の補正係数は、利用者数から算出。→補正係数 **1.52**

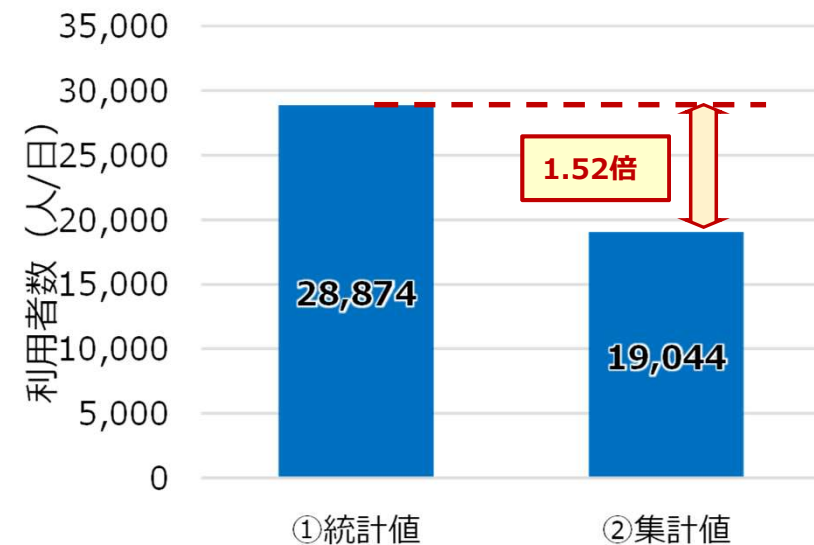
熊本電鉄補正係数

交通機関名	乗降客数（人/日）		一致率 ②/①	補正係数
	①統計値	②集計値		
熊本電鉄	3,693	4,910	133.0%	0.75



熊本市電補正係数

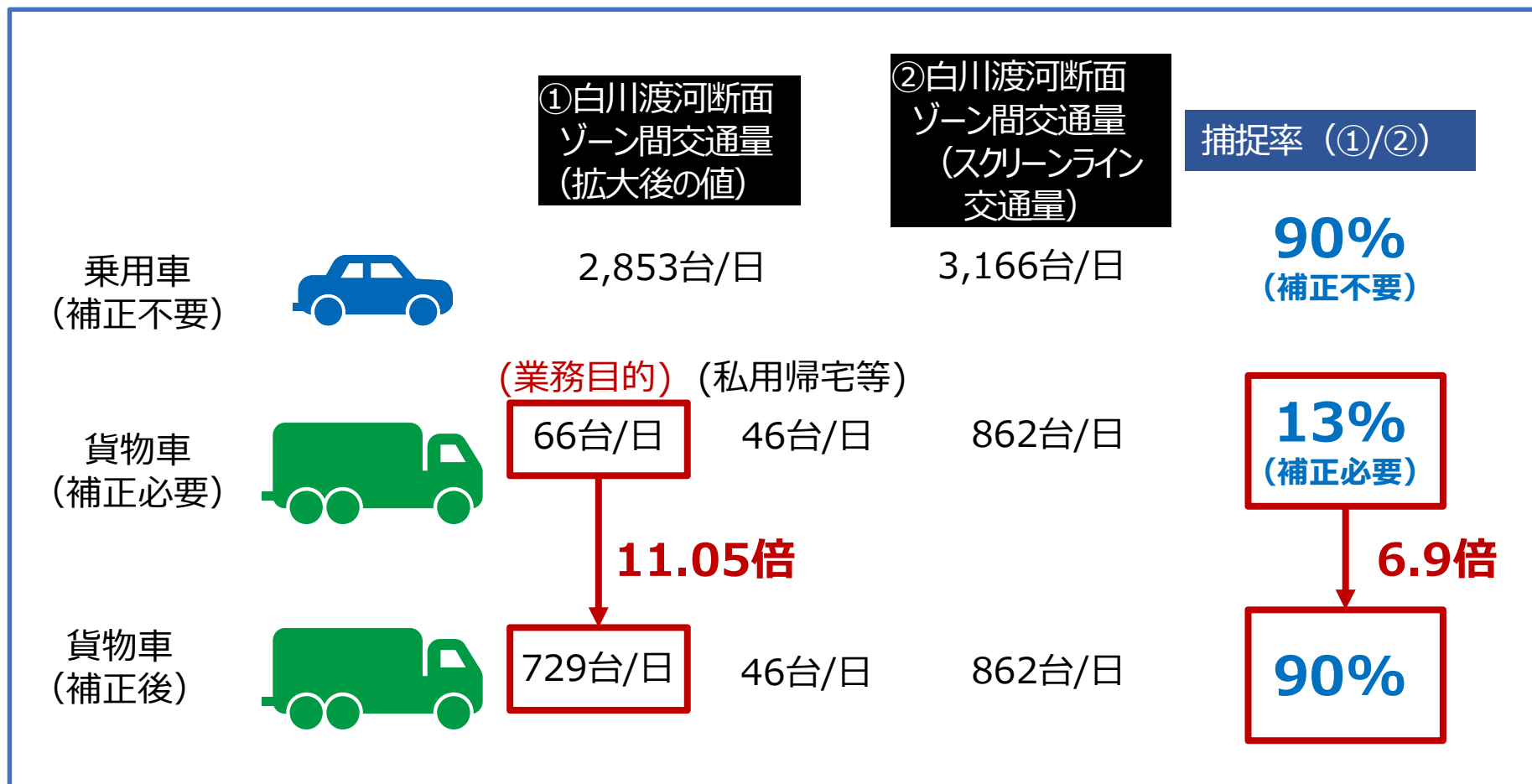
交通機関名	乗降客数（人/日）		一致率 ②/①	補正係数
	①統計値	②集計値		
熊本市電	28,874	19,044	66.0%	1.52



3. 実態調査（2）調査結果

- 自動車交通は、乗用車の交通量の割合に応じた貨物車（業務目的）の交通量の補正を実施。

補正処理のイメージ（スクリーンライン間自動車交通量）

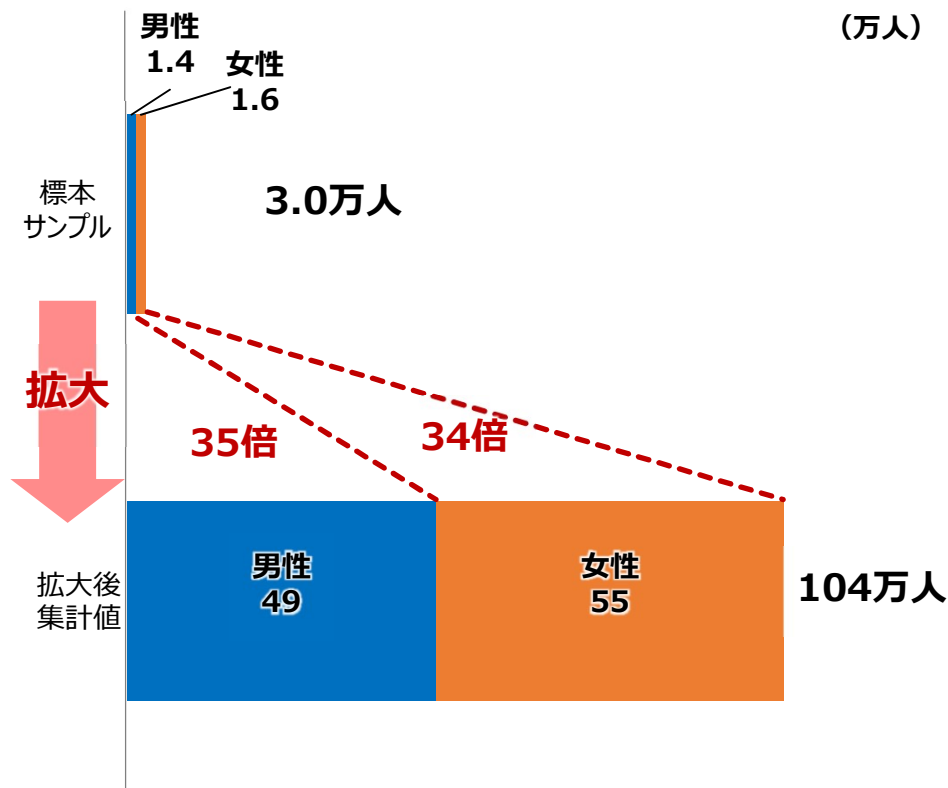


3. 実態調査（2）調査結果

- ・ 拡大処理は、標本サンプルを都市圏全体の母数（人口等）に拡大。
- ・ 補正処理は、拡大処理後のトリップが公共交通利用者や自動車交通量の統計値を再現できているかを確認し、再現性の精度が低い場合は補正を実施。

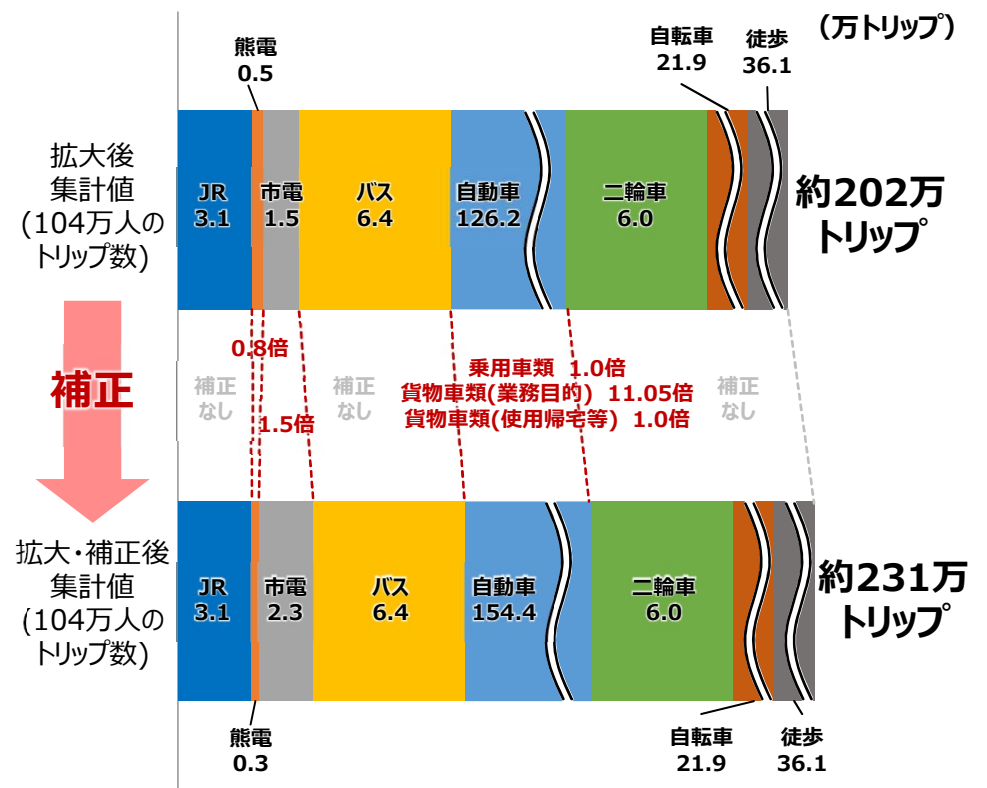
拡大処理（人口の拡大イメージ）

標本サンプルから都市圏全体の人口等の母数に整合させる処理



補正処理

統計値が既知である公共交通、自動車を対象に拡大後のトリップ数を統計値のトリップ数に整合させる処理



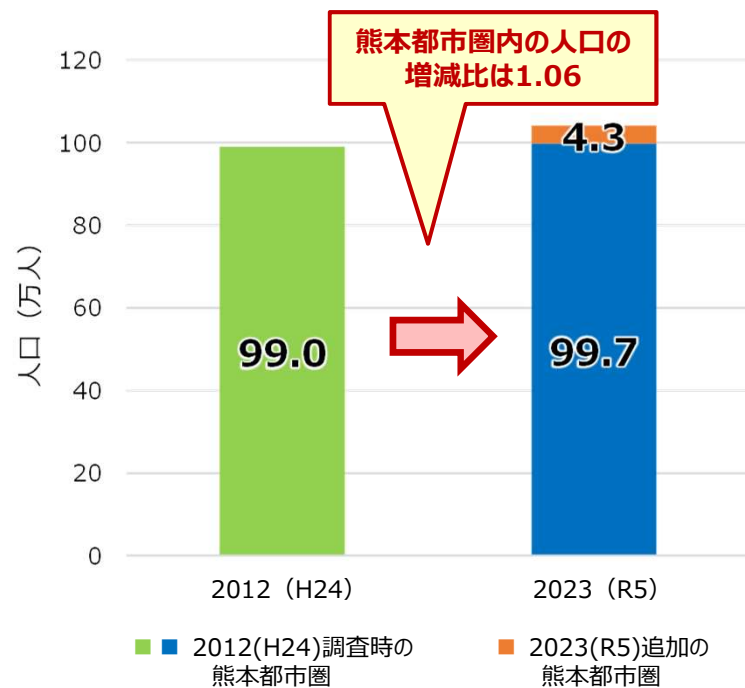
本日の内容

1. 要綱の改定について
2. これまでの協議会について
3. 実態調査（パーソントリップ調査）結果
 - (1) 回収結果
 - (2) 調査結果
 - ① 本体調査
 - ② 付帯調査
 - ③ 補完調査
 - (3) 公表方法
4. 今後のスケジュール

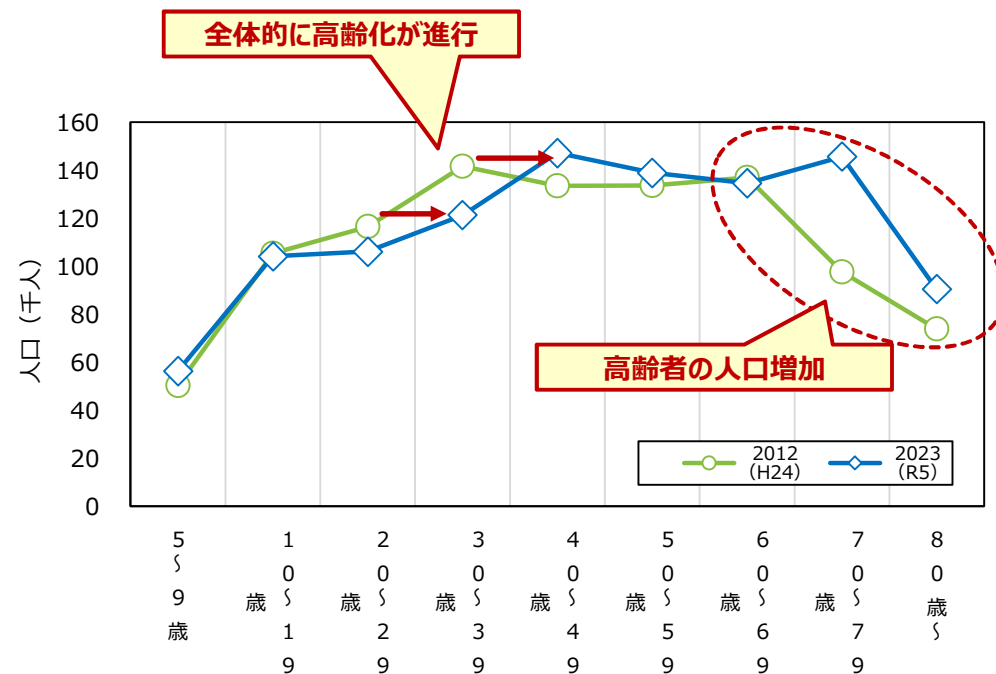
3. 実態調査（2）調査結果 ①本体調査

- 熊本都市圏の人口は約1.06倍と増加傾向。
- 高齢者の人口が増加とともに、全体的に高齢化が進展。

熊本都市圏人口（5歳以上）



熊本都市圏年齢構成

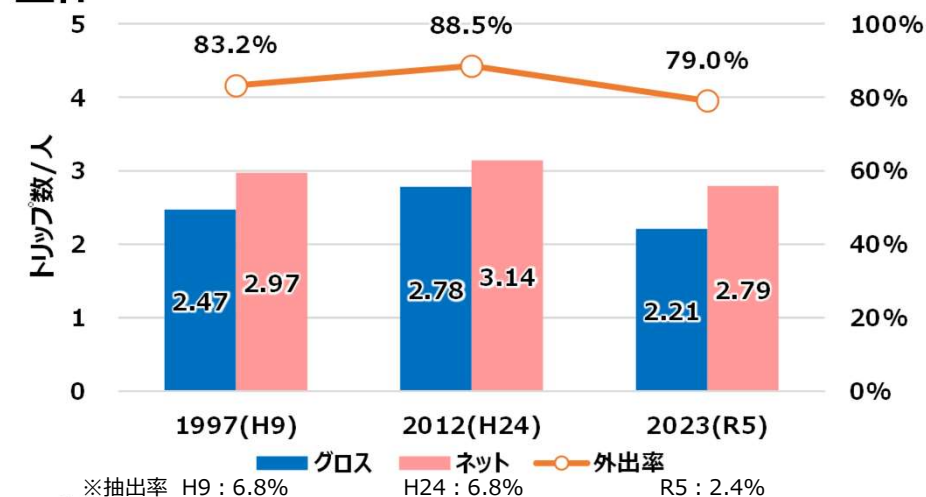


3. 実態調査（2）調査結果 ①本体調査

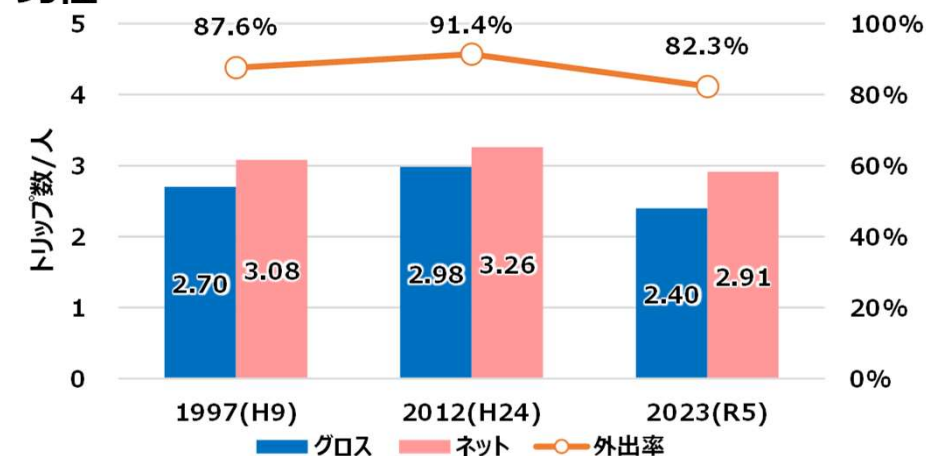
- 生成原単位は2.21、外出率は79.0%とともに減少。性別にみても同様の傾向。外出していない人の約21.4%が在宅勤務を実施。

生成原単位・外出率

全体



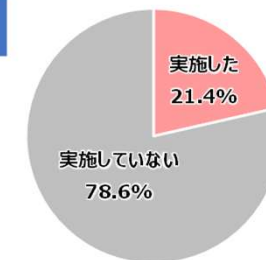
男性



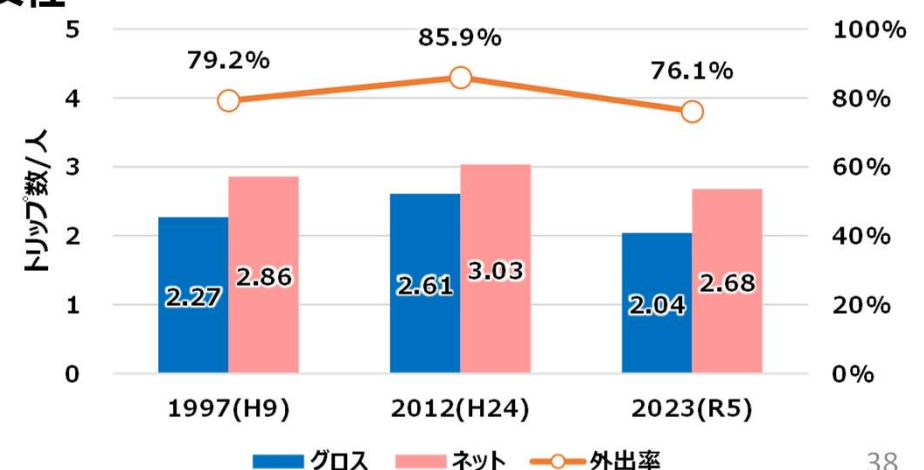
トリップ	人がある目的をもって、ある地点からある地点へと移動する単位
生成原単位	ある地域に居住する人が行う1人1日あたりの平均トリップ数
グロス	人口1人あたりのトリップ数
ネット	外出人口1人あたりのトリップ数
外出率	外出人口が全人口に占める割合

在宅勤務の実施

(外出していない人のうち)



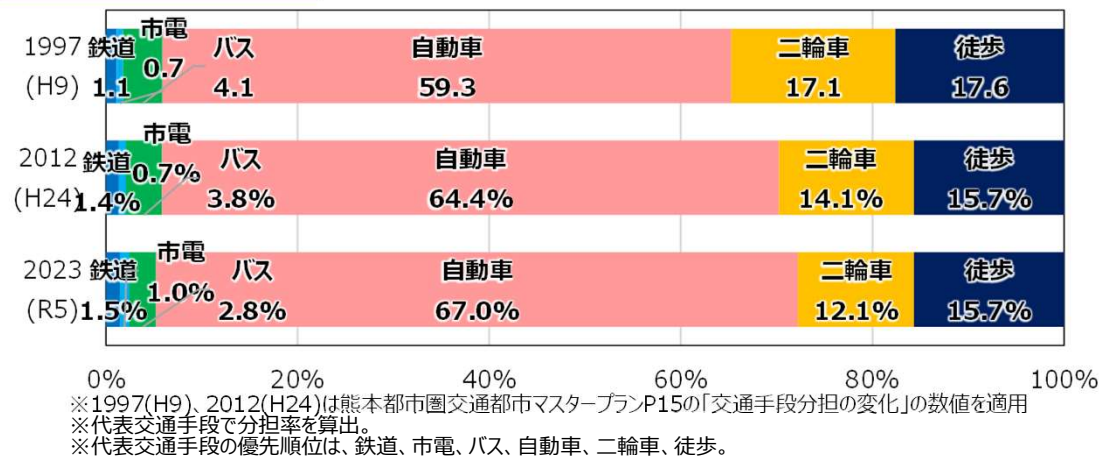
女性



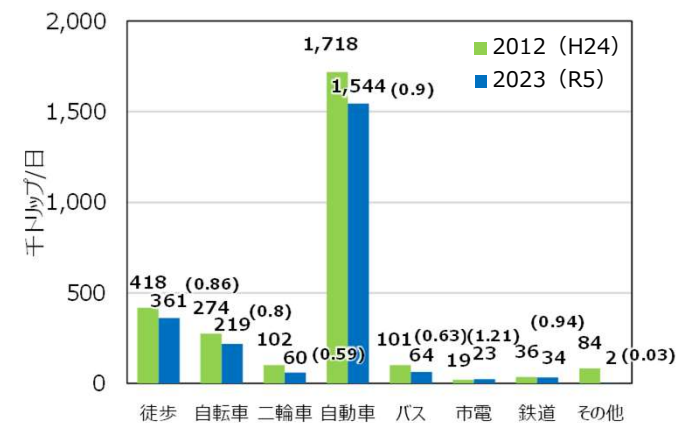
3. 実態調査（2）調査結果 ①本体調査

- 交通手段分担率は、自動車が最も多く、割合も増加。
- 自動車分担率は、男女ともに60代以上の割合が増加。

交通手段分担率

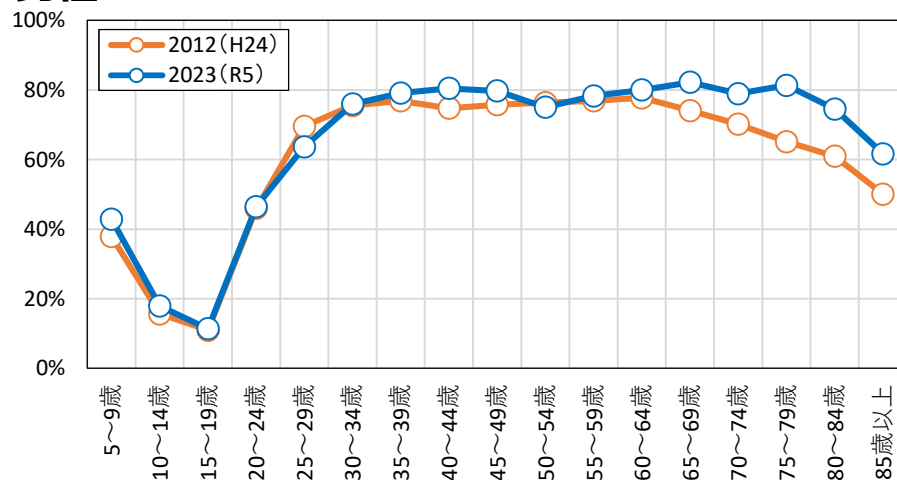


交通手段トリップ数

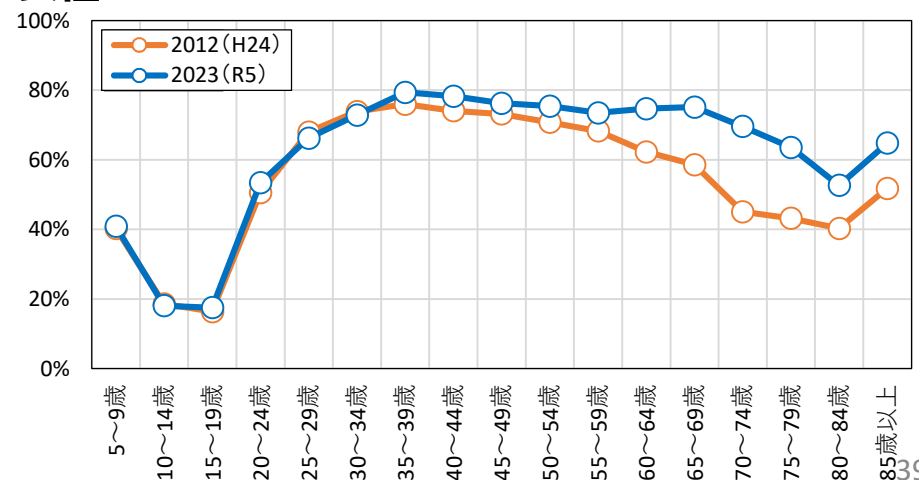


自動車分担率

男性



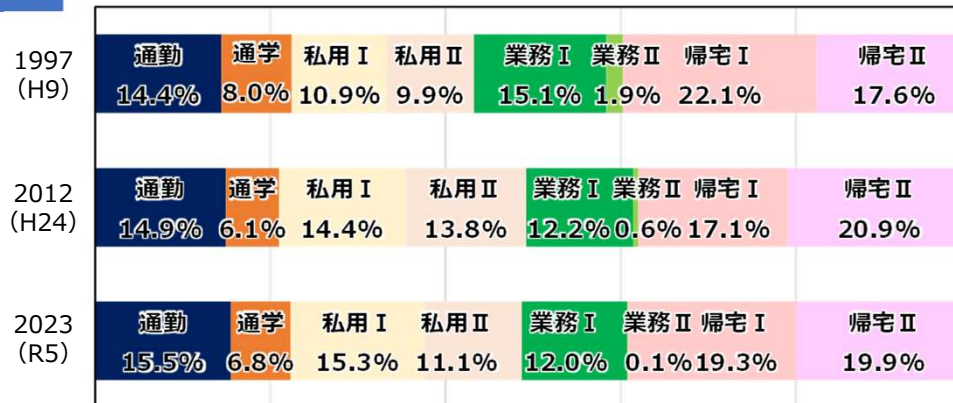
女性



3. 実態調査（2）調査結果 ①本体調査

- 目的別構成比は、前回と同様の傾向。
- 目的別交通手段別構成比は、いずれも自動車が増加。

目的別構成比 0% 20% 40% 60% 80% 100%

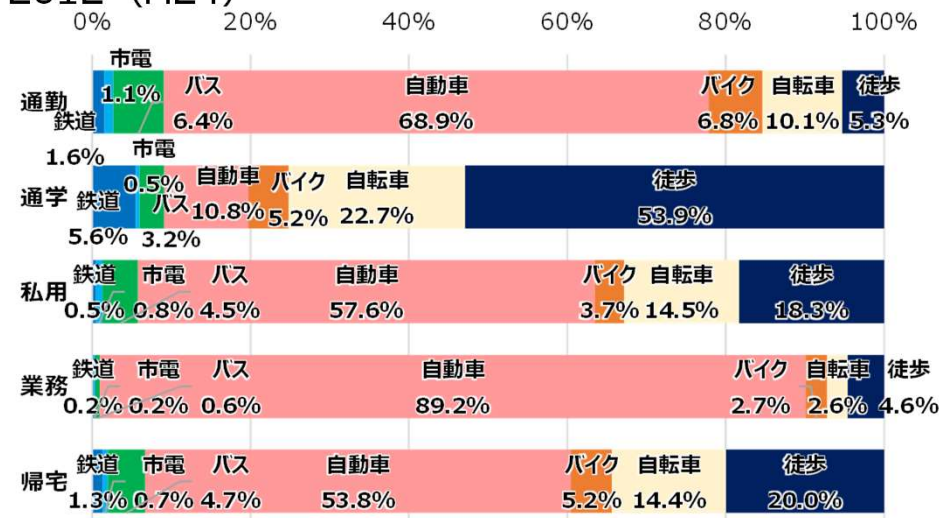


私用 I	買物・食事・レジャー・散歩等
私用 II	通院・送迎・その他私用
業務 I	販売・配達・会議・集金・作業等
業務 II	農林漁業作業
帰宅 I	通勤・通学の復路
帰宅 II	その他帰宅

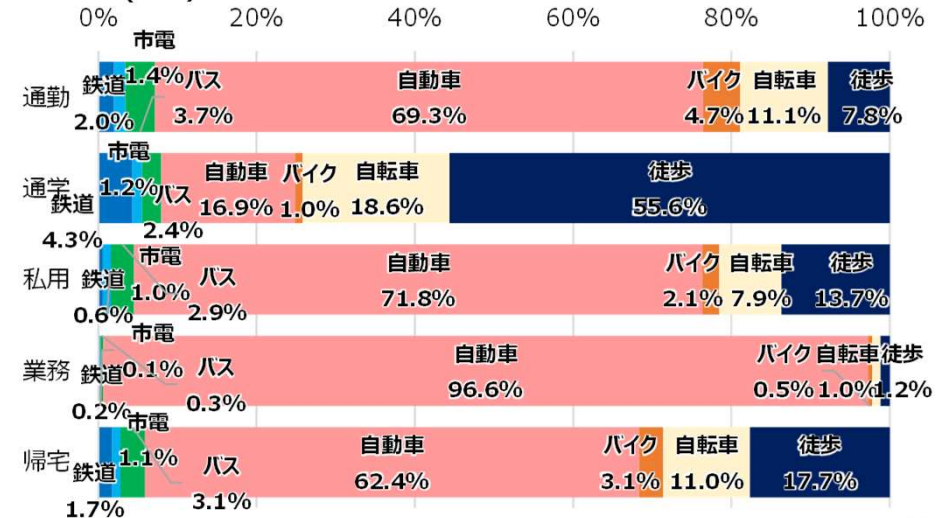
目的別交通手段別構成比

※代表交通手段で分担率を算出。
※代表交通手段の優先順位は、鉄道、市電、バス、自動車、二輪車、徒歩。

2012 (H24)



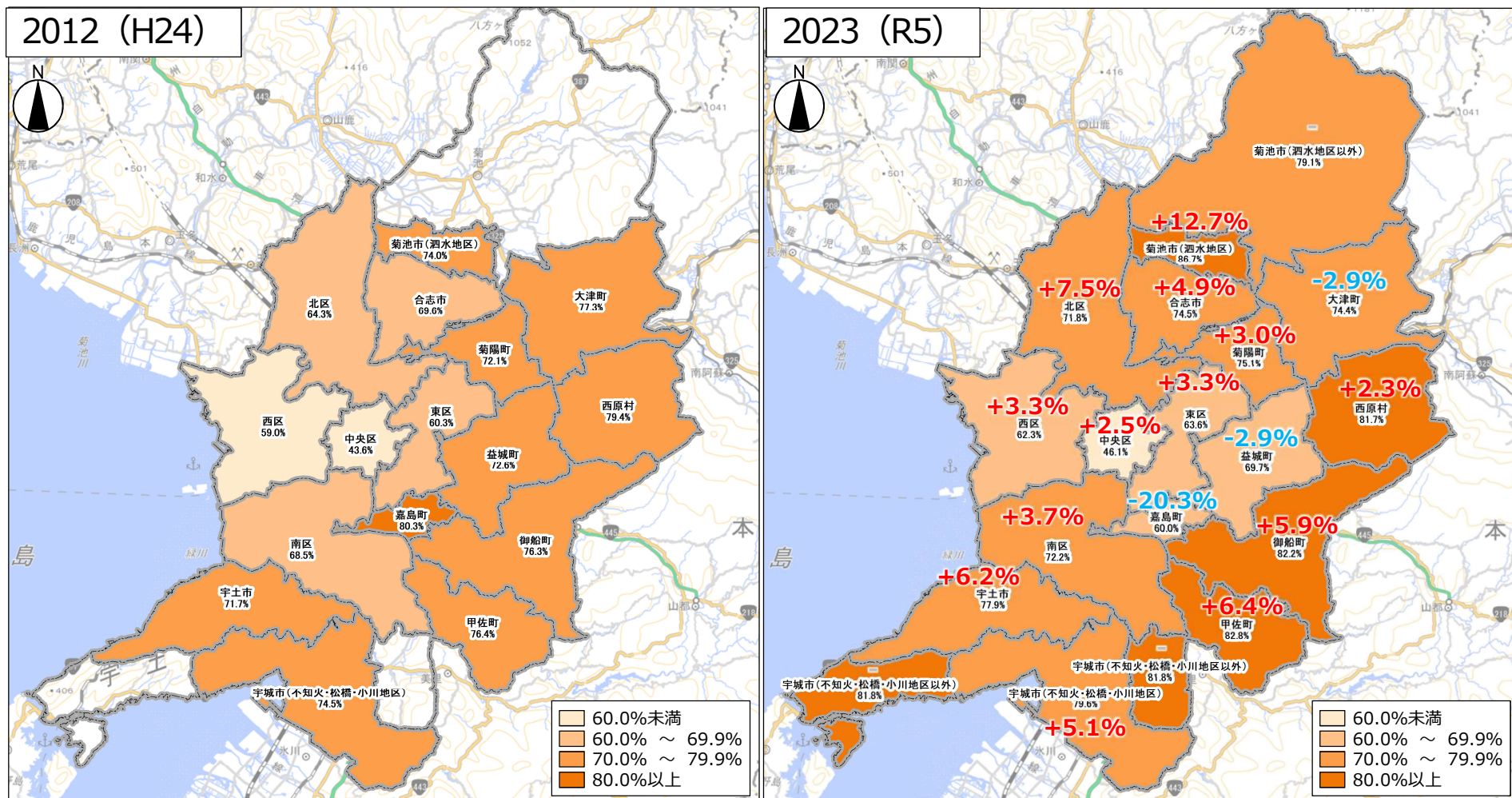
2023 (R5)



3. 実態調査（2） 調査結果 ①本体調査

- 自動車分担率（市区町村別）は、熊本市中心部から離れるにつれて増加する傾向。

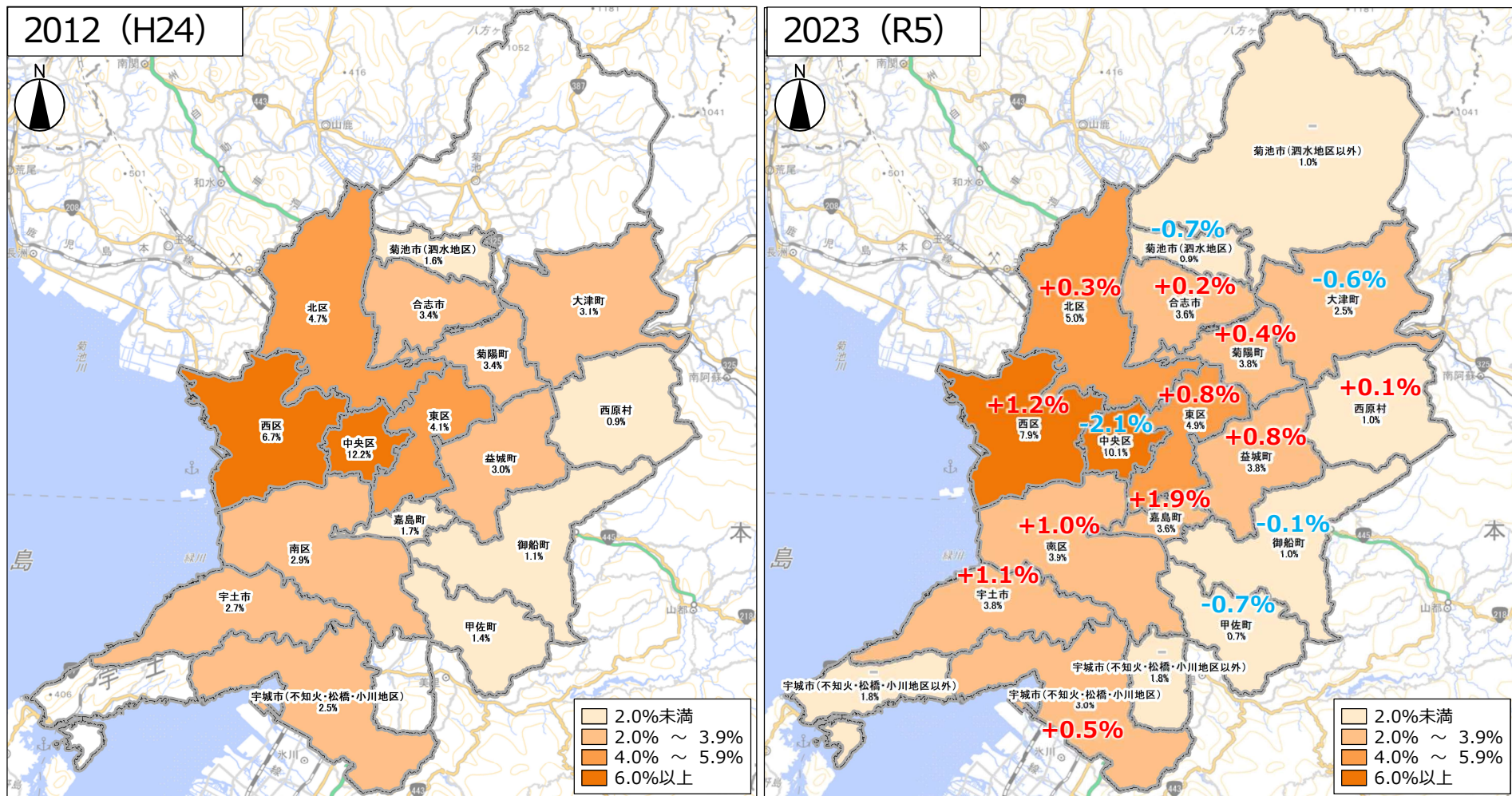
自動車分担率



3. 実態調査（2） 調査結果 ①本体調査

- 公共交通分担率（市区町村別）は、熊本市中心部に近づくにつれて増加する傾向。

公共交通分担率



本日の内容

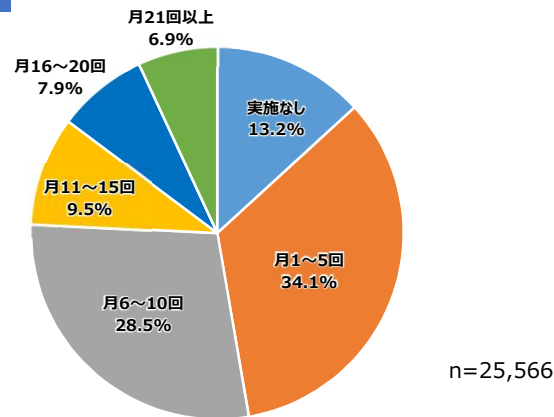
1. 要綱の改定について
2. これまでの協議会について
3. 実態調査（パーソントリップ調査）結果
 - （1）回収結果
 - （2）調査結果
 - ①本体調査
 - ②付帯調査
 - ③補完調査
 - （3）公表方法
4. 今後のスケジュール

3. 実態調査（2） 調査結果 ②付帯調査

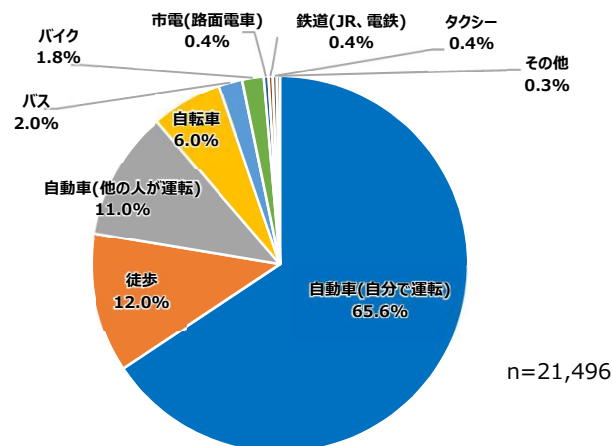
- 私事活動（買物）の実施頻度は、「月1～5回」が34.1%、「月6～10回」が28.5%。
- 外出時の主な交通手段は自動車が76.6%と大半を占め、次いで徒歩が12.0%。
- 主な目的地は、熊本市に多く集中するが、合志市、大津町、宇城市、宇土市等も見られる。

最近（概ね1か月）の私事活動（買物）の状況について

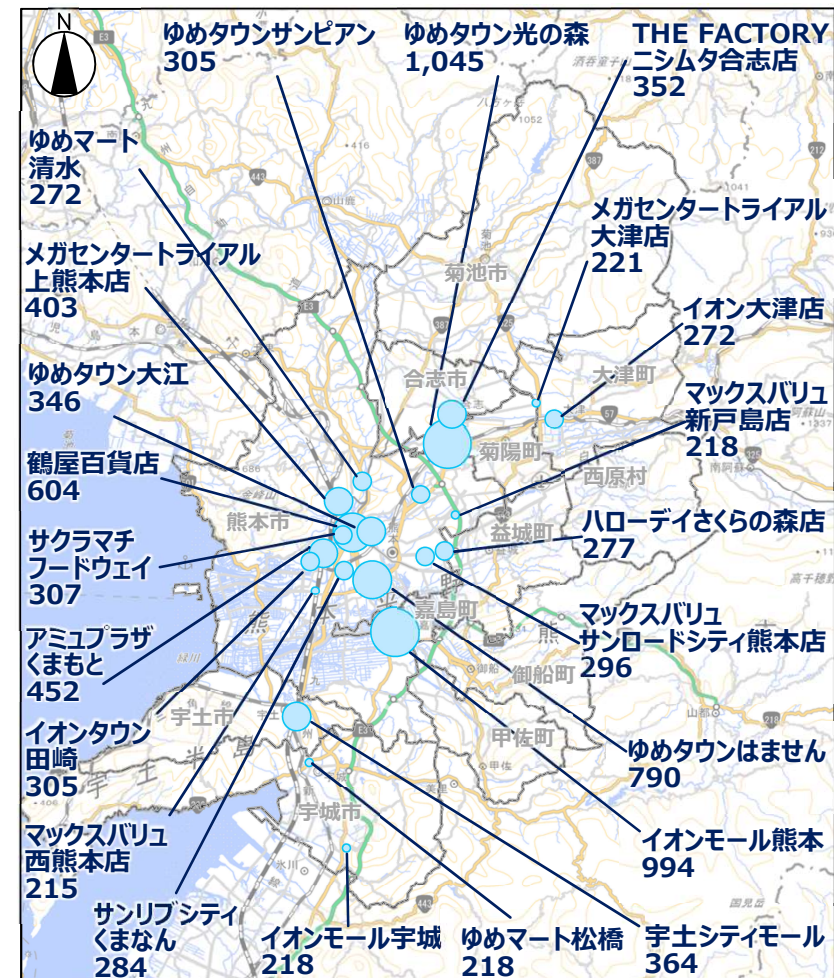
実施頻度



外出時の主な交通手段



私事活動で外出する際の主な目的地（上位20位）

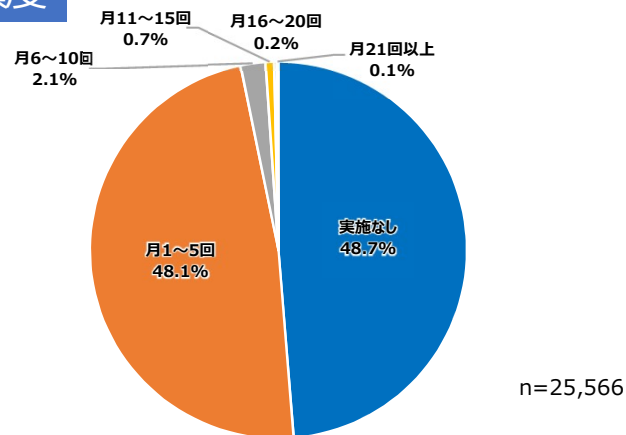


3. 実態調査（2） 調査結果 ②付帯調査

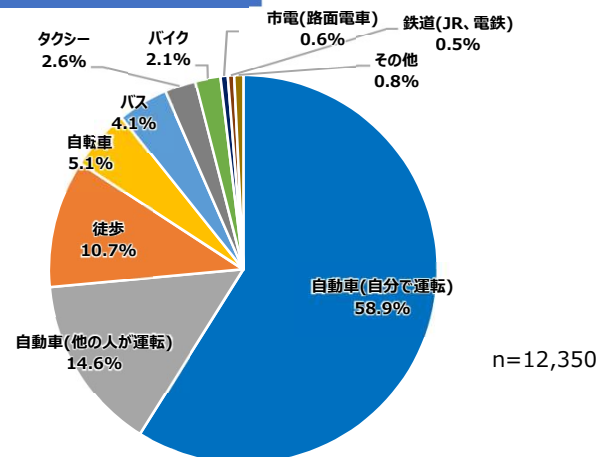
- 私事活動（通院）の実施頻度は、「実施なし」が48.7%、「月1～5回」が48.1%。
- 外出時の主な交通手段は自動車（自分運転）が73.5%と大半を占め、次いで徒歩が10.7%。
- 主な目的地は、熊本市に多く集中するが、合志市、菊陽町、宇城市等も見られる。

最近（概ね1か月）の私事活動（通院）の状況について

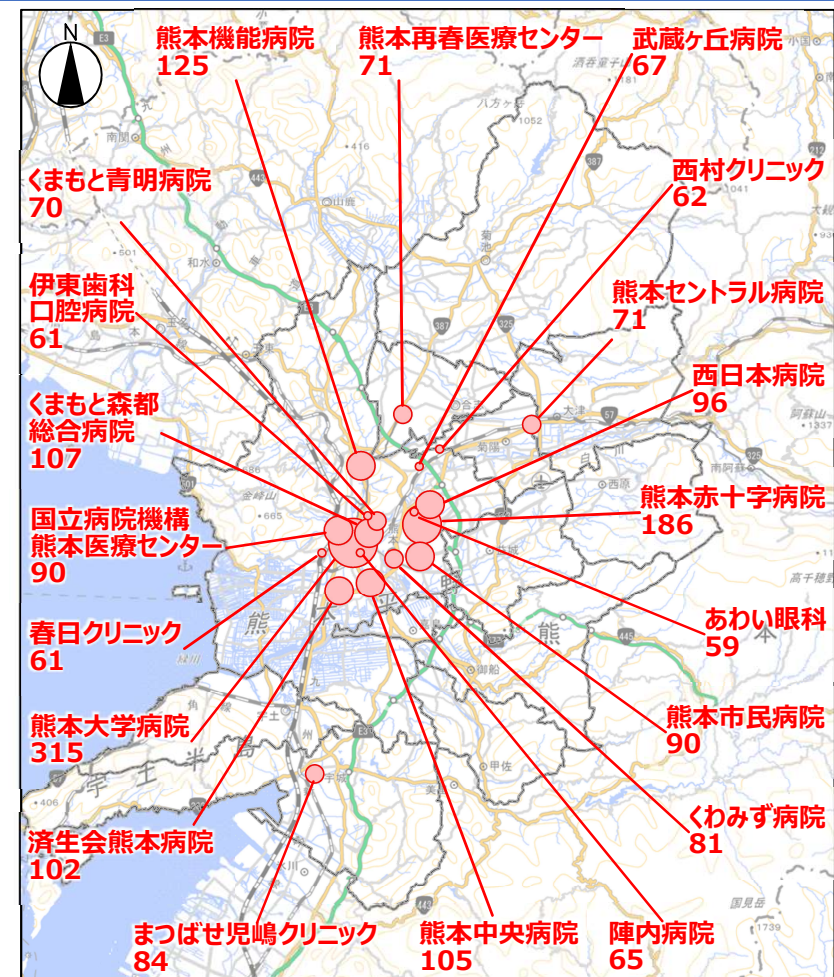
実施頻度



外出時の主な交通手段



私事活動で外出する際の主な目的地（上位20位）

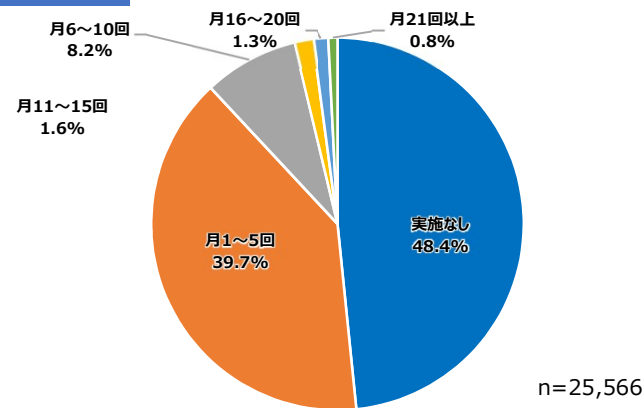


3. 実態調査（2） 調査結果 ②付帯調査

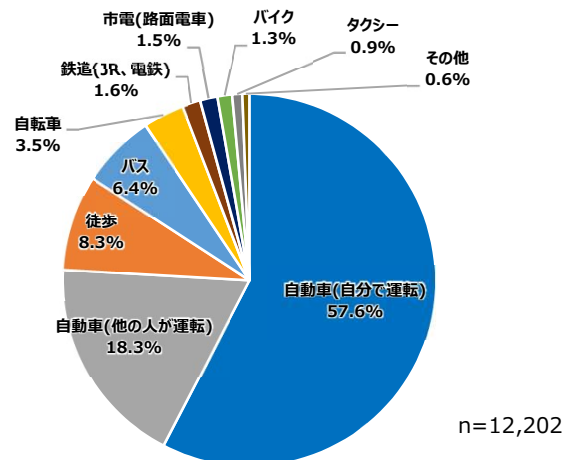
- 私事活動（食事・社交・娯楽）の実施頻度は、「実施なし」が48.4%、「月1～5回」が39.7%。
- 外出時の主な交通手段は自動車（自分運転）が75.9%と大半を占め、次いで徒歩が8.3%。
- 主な目的地は、熊本市に多く集中するが、菊陽町、宇城市等も見られる。

最近（概ね1か月）の私事活動（食事・社交・娯楽）の状況について

実施頻度



外出時の主な交通手段



私事活動で外出する際の主な目的地（上位20位）

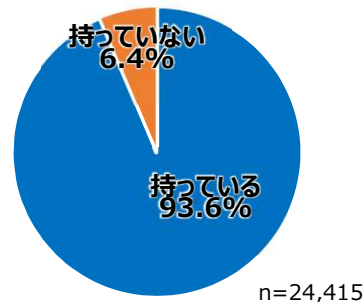


3. 実態調査（2） 調査結果 ②付帯調査

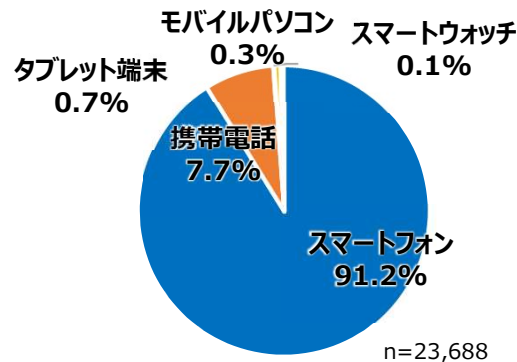
- モバイル端末の所有状況は約9割で、主に使用するモバイル端末はスマートフォンが約9割。
- モバイル端末で行うことは、「通話・メール」が最も多く、「WEBサイト閲覧・動画視聴」が6割以上。決済に関する利用は、「決済（買物）」が約4割、「決済（公共交通支払い）」が約1割。

モバイル端末の利用状況について

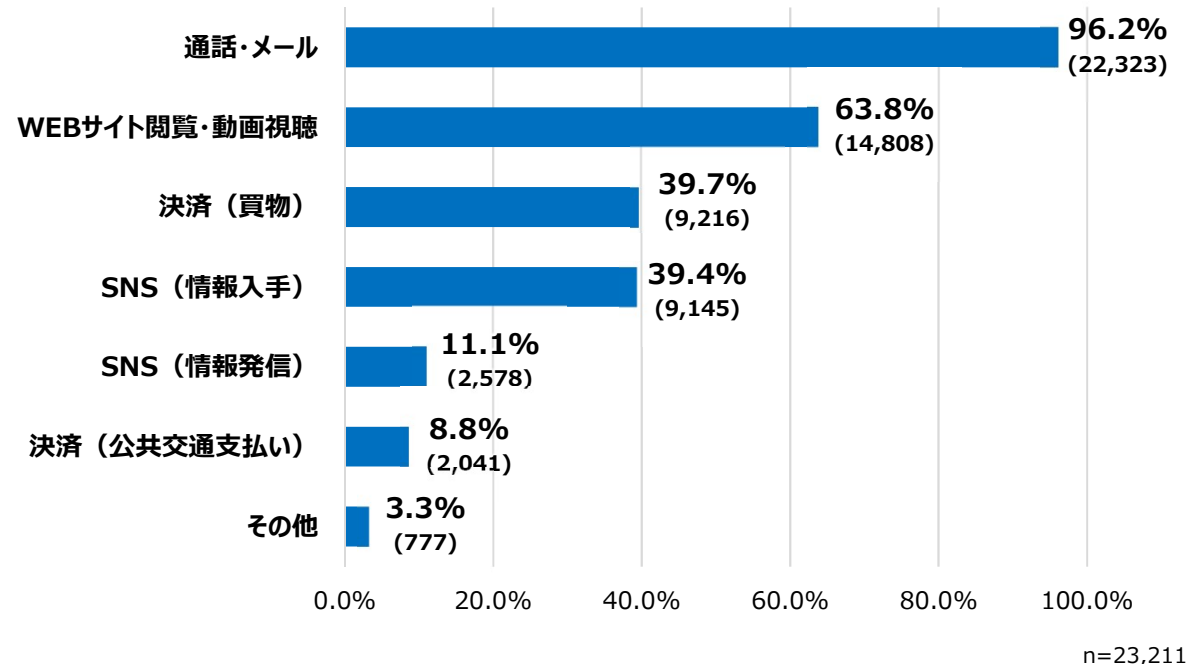
①モバイル端末の所有状況



②主に使用するモバイル端末



③モバイル端末で行うこと（複数回答）

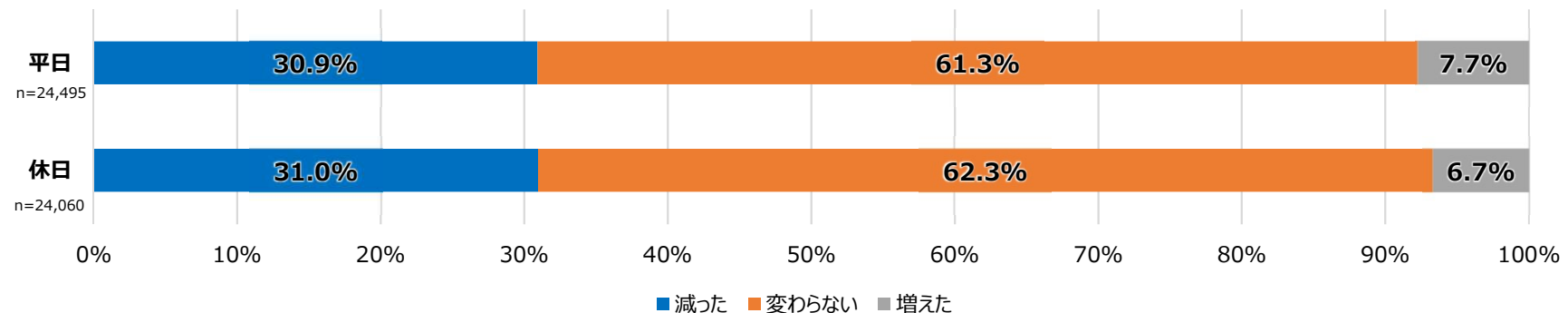


3. 実態調査（2） 調査結果 ②付帯調査

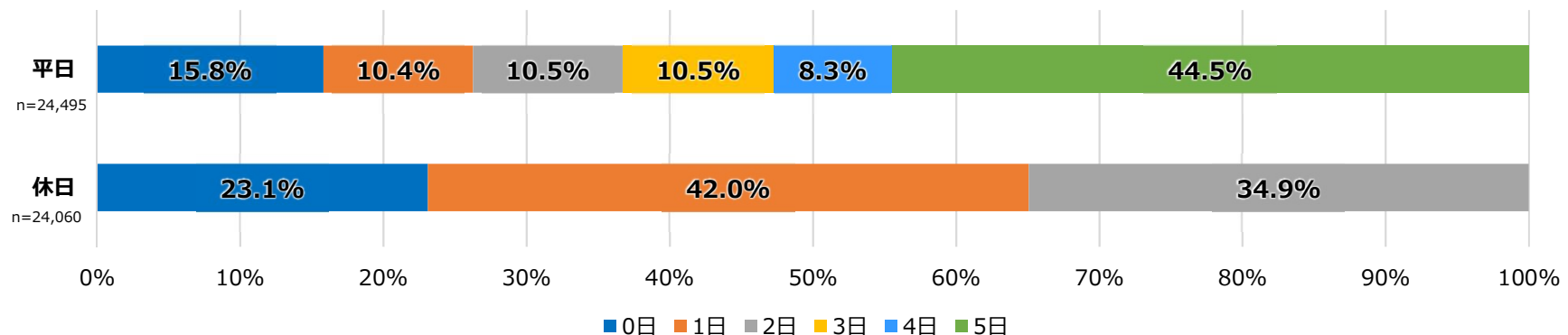
- 外出頻度（5年前に比べて）が減った人は、平日休日とも約3割。
- 平日は約4割の人が5日以上外出している。
- 休日は約2割の人が1日も外出していない。

ここ1ヶ月の外出頻度（平日、休日）などについて

外出頻度の変化（5年前に比べて）



現在の外出日数（週あたり）

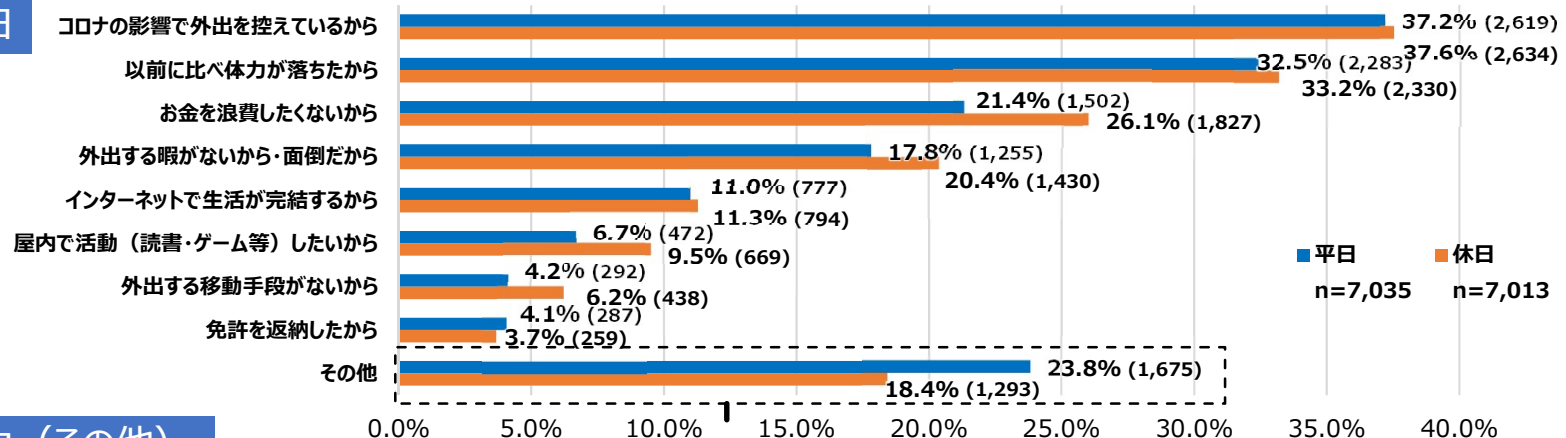


3. 実態調査（2） 調査結果 ②付帯調査

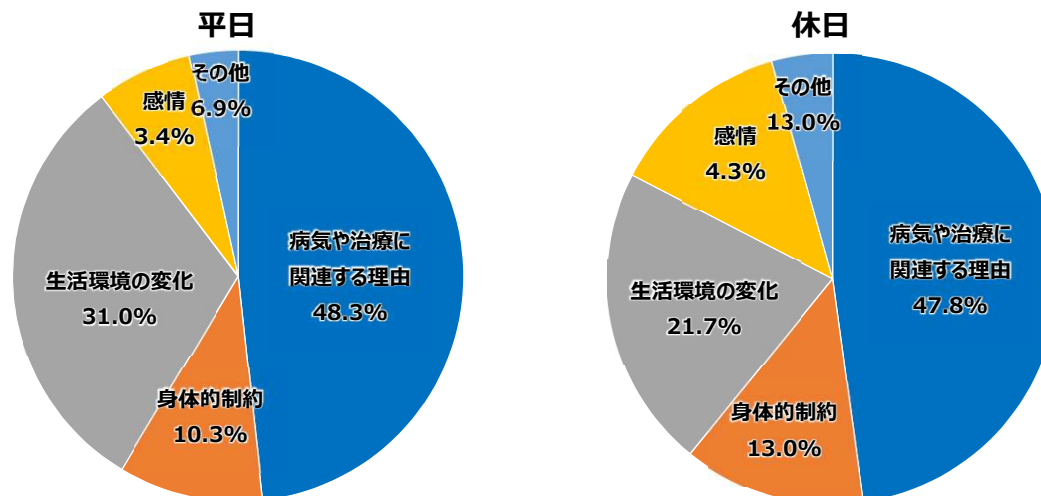
- 外出の減った理由は、コロナ禍での外出抑制や出費の抑制等の理由が高い。

ここ1ヶ月の外出頻度（平日、休日）などについて（複数回答）

外出が減った理由



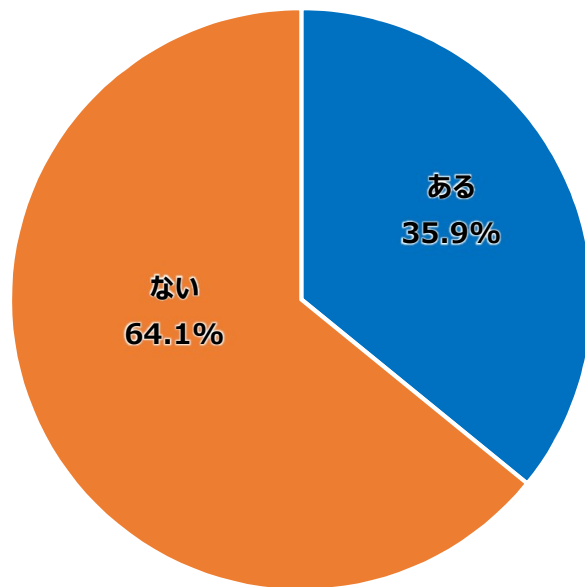
外出が減った理由（その他）



3. 実態調査（2） 調査結果 ②付帯調査

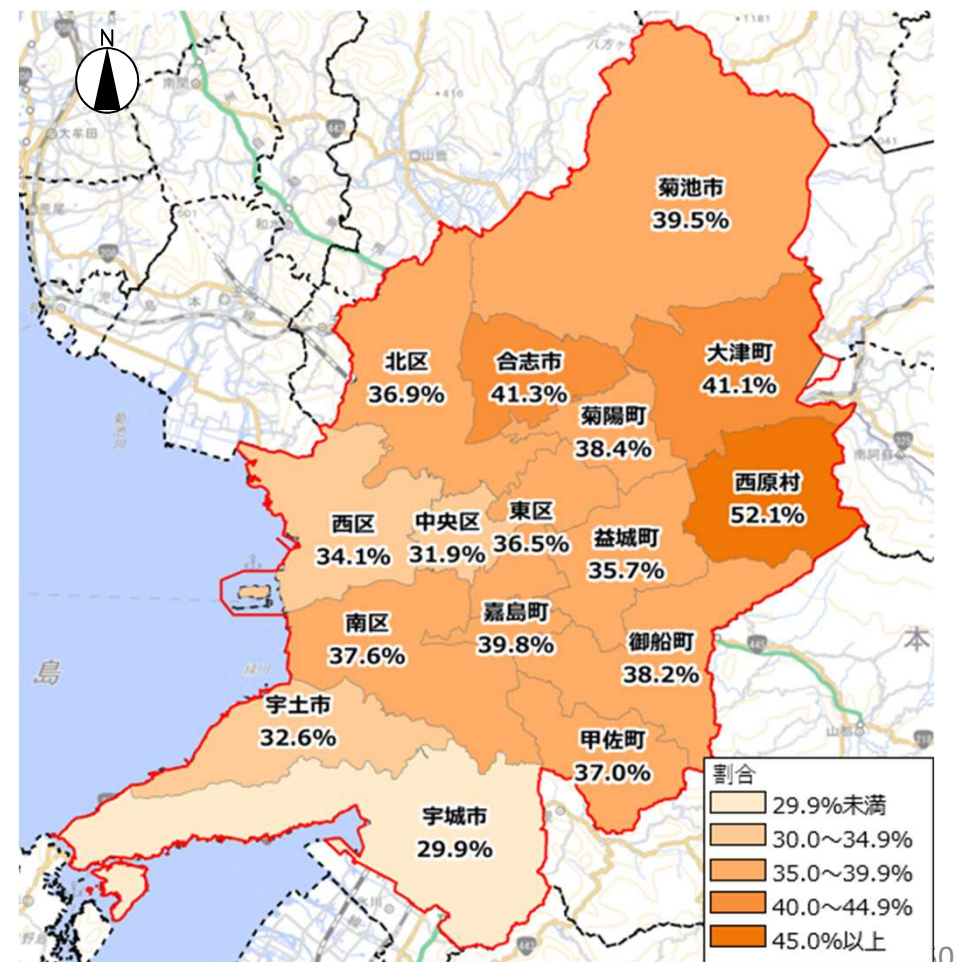
- 公共交通を利用する際に困りごとがある人の割合は、36%。
- 地区別では、熊本市周辺部において割合が高い。

公共交通を利用する際の困りごとの有無



n=24,791

公共交通を利用する際の
困りごとがある人の割合（地区別）

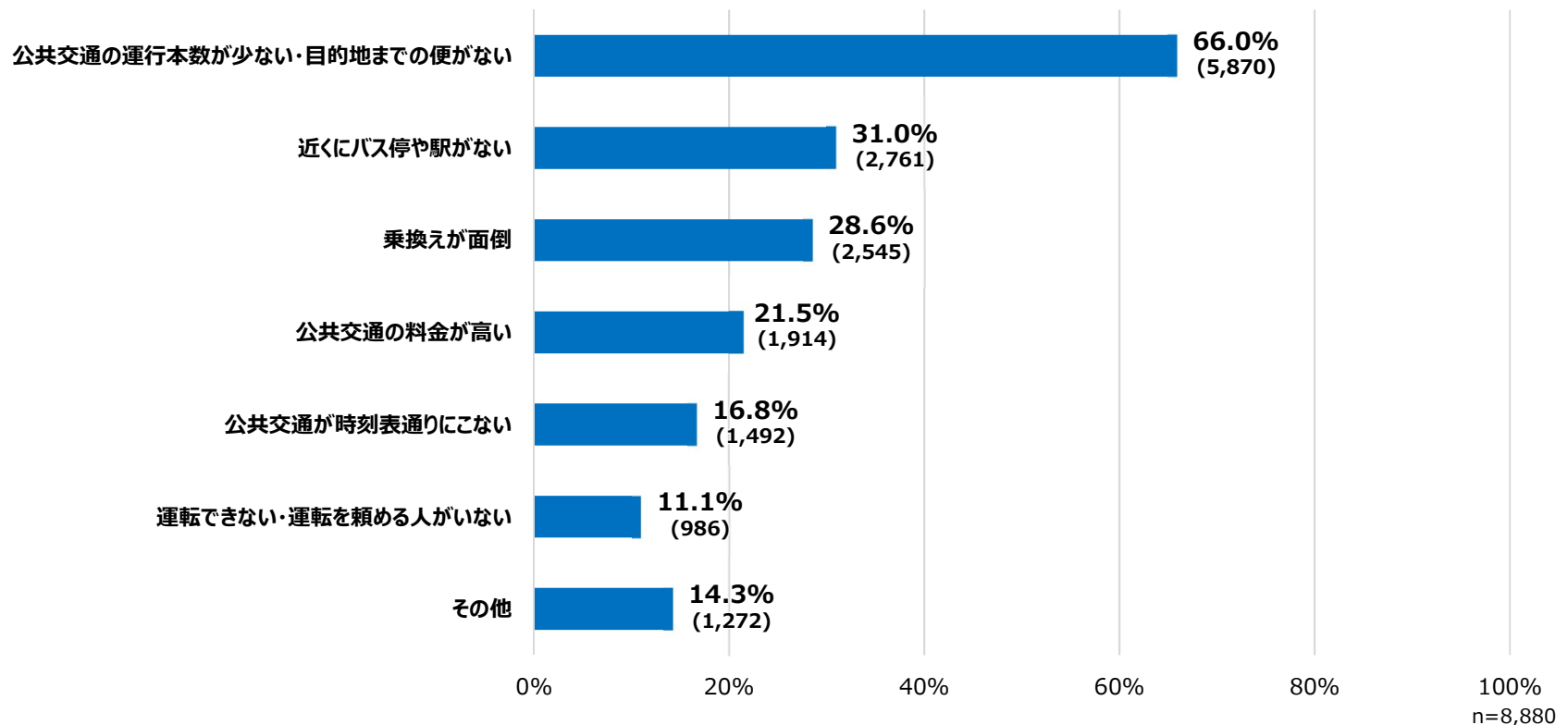


3. 実態調査（2） 調査結果 ②付帯調査

- 困りごとの具体的理由は、「公共交通の運行本数が少ない、目的地までの便が少ない」が最も多く、「近くにバス停や駅がない」、「乗換えが面倒」なども多い。

公共交通を利用する際の困りごとについて

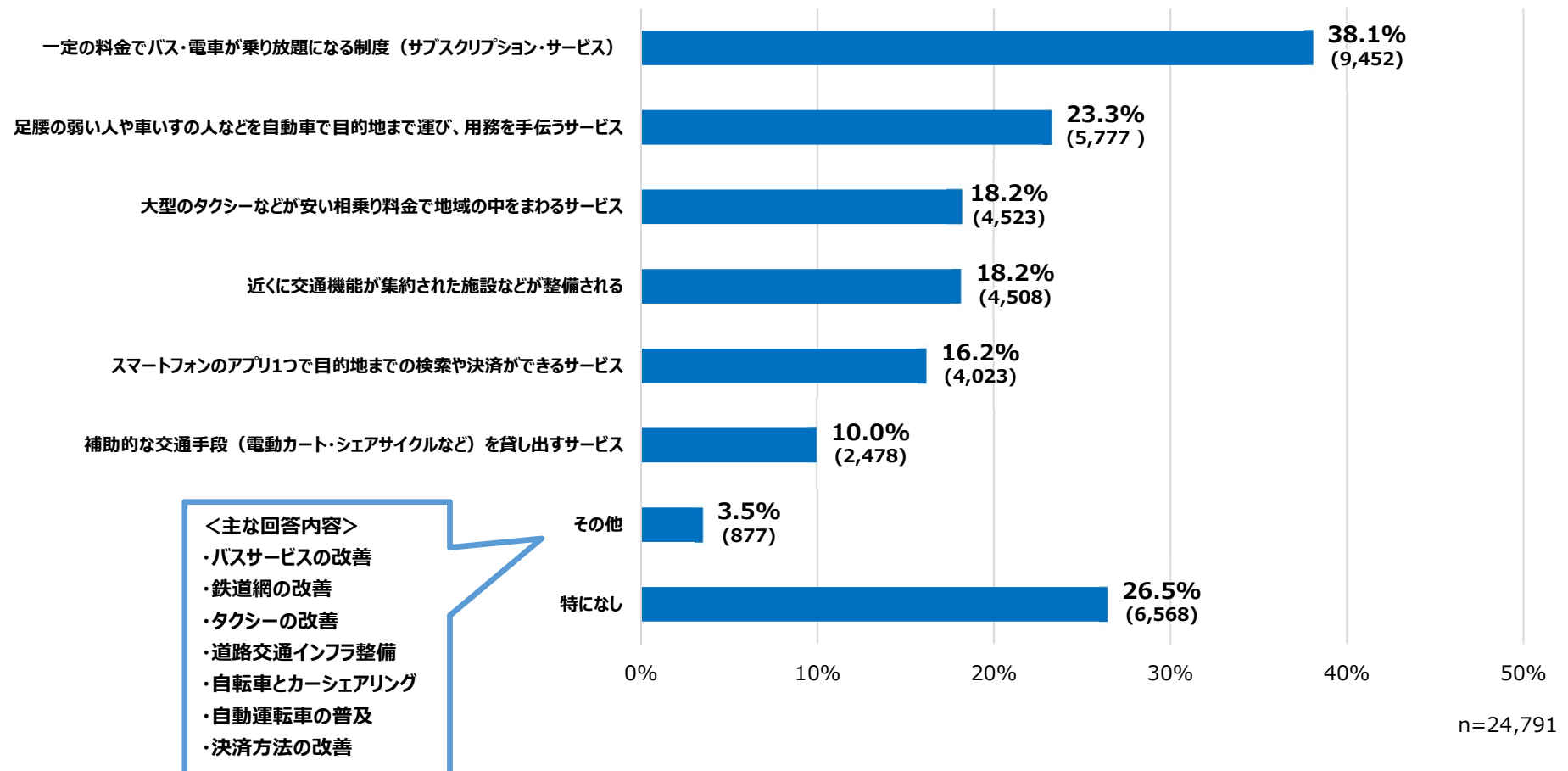
困りごとの具体的理由（複数回答）



3. 実態調査（2） 調査結果 ②付帯調査

- 今後身近にあったらよい移動支援サービスは、「サブスクリプション・サービス」が最も多く、「スマートフォンのアプリ1つで目的地までの検索や決済ができるサービス」、「近くに交通機能が集約された施設などが整備される」が次いで多い。

今後、身近にあったらよい移動支援サービス（複数回答）



3. 実態調査（2） 調査結果 ②付帯調査

- 熊本都市圏の交通に関する理想の要望、現在感じる問題は、「公共交通の改善」が49%と最も多く、「交通渋滞に関して」が41%、「道路整備、維持管理に関して」が22%。

熊本都市圏の交通に関する理想の要望、現在感じる問題について

主な自由意見（カテゴリ化した中で主だったものを記述）

1.道路整備、維持管理に関して

- ・都市高速道路・高規格道路の整備
- ・幹線道路での立体交差整備
- ・車線拡幅等による改良
- ・自転車の安全な走行環境の確保

2.公共交通の改善

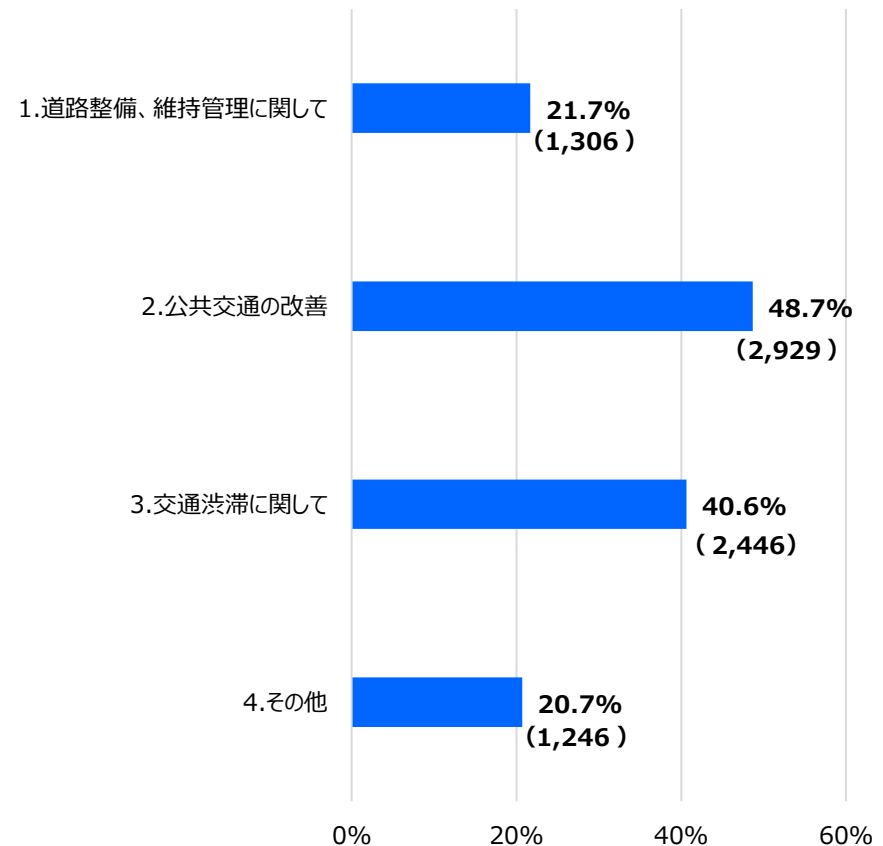
- ・バス路線の充実と運行便数の拡充
- ・公共交通機関の運賃見直し
- ・公共交通機関の運行時間延長
- ・高齢者や子供の移動性向上

3.交通渋滞の解消

- ・渋滞対策の検討
- ・通勤・通学時間帯の渋滞対策
- ・公共交通機関の時間信頼性向上

4.その他

- ・運転マナー改善
- ・駐車場・駐輪場に関する要望



3. 実態調査（2） 調査結果 ②付帯調査

熊本都市圏の交通に関する理想の要望、現在感じる問題について

①道路整備、維持管理に関する意見



信号交差点がない**熊本西環状道路のようなバイパスを整備**してもらいたいです。TSMC立地後、ストレスしかない状況です。
(30代男性 合志市)

道路が狭いため、**自転車での移動がしづらい**です。自転車と自動車
が分離されていないため、**通勤・帰宅時は非常に危険な状況**
です。(40代男性 熊本市中央区)



②公共交通の改善に関する意見



バスの増便と、近隣へのバス停の設置を希望します。電車は中心
市街地へ飲食に向かう際、重宝します。これ以上、**運賃の値上
げにならないことを希望**します。深夜運行があるとありがたいです。
(50代女性 合志市)

熊本県は車がないと移動が大変です。**地下鉄や路面電車などで市
内やあちこちに乗り換えなしで移動できたら良い**と思います。(60代
男性 菊陽町)



合志市としては、**熊本電鉄とJR・市電の乗り換えがスムーズにで
き**と公共交通手段での移動がしやすくなります。
(40代男性 合志市)

バスの料金がもう少し安くなって欲しいです。
(10代女性 益城町)



高齢化率が進展する中で**公共交通機関が統廃合されるのは不
便さを増し外出頻度の減少につながる**と思います。
福祉の観点から、**町内巡回バスの便数を増加し、運行路線を
増やしてほしい**と思います。
また、高齢者だけでなく子供への対応としても大事と考えていま
す。(30代女性 菊陽町)

③交通渋滞の解消に関する意見



朝、夕ピーク時は**国道3号や熊本西環状道路の渋滞により通行
しづらい**状況です。**細街路を通行せざるを得ないため、安全性が
心配**です。また、**細街路から幹線道路に流入し渋滞を悪化させて
いないか**気になっております。(30代女性 熊本市南区)

公共交通機関（バス）を利用しても、**渋滞にまき混まれて、到着
時間が読めない**です。バスの到着を待ったりバス停まで行く時間を
考えると、自家用車の方が市街地には早く到着するため、**夕ピーク
時は自家用車を利用する**ことが多いです。
(40代男性 嘉島町)



セミコンテクノパークでは、**朝夕の渋滞がひどい**ため、公共交通機関
がより便利になったり、**道路工事等で交通状況が改善したりすると
大変ありがたい**と感じています。(20代女性 菊陽町)

特に**朝夕の出勤、帰宅時に熊本市内の渋滞がひどい**です。それ
に伴い**バスの遅延**が当たり前のようにあります。(40代女性 御船
町)



バスは定刻通りに運行するべきと考えており、そのためには**バス専用
レーンの整備が必要**と考えています。(40代男性 熊本市南区)

④その他に関する意見



住宅地の道路でスピードの出しすぎが多いのではないかと思います。
子供、老人の歩行者を考えて運転して頂きたいと思います。
(80代男性 合志市)

駅やバス乗り場の近くに駐車場があったら使いやすいです。
(40代女性 大津町)



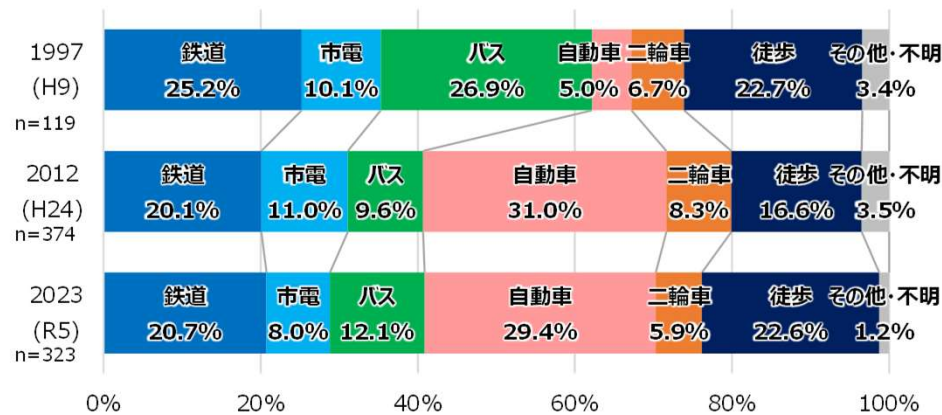
本日の内容

1. 要綱の改定について
2. これまでの協議会について
3. 実態調査（パーソントリップ調査）結果
 - （1）回収結果
 - （2）調査結果
 - ①本体調査
 - ②付帯調査
 - ③補完調査
 - （3）公表方法
4. 今後のスケジュール

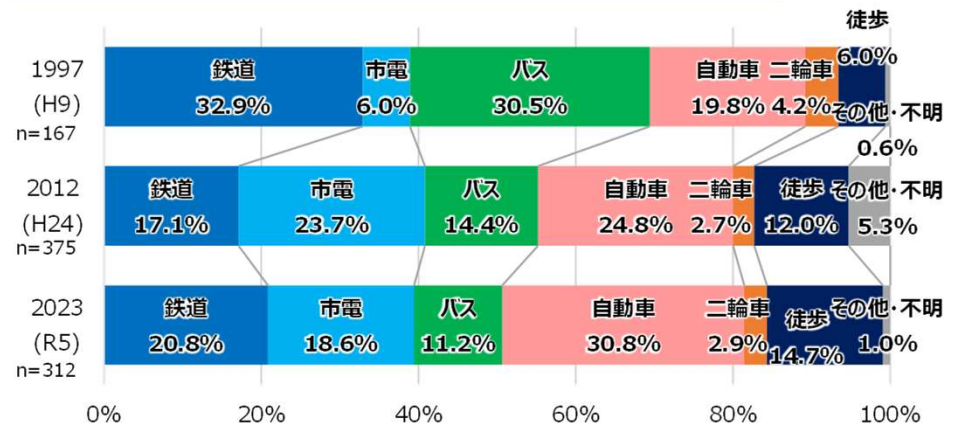
3. 実態調査（2）調査結果 ③補完調査（コードンライン）

- JR熊本駅は、圏内に比べて圏外では、市電の割合が多い。
- 阿蘇くまもと空港は、圏内に比べて圏外では、バスの割合が多い。

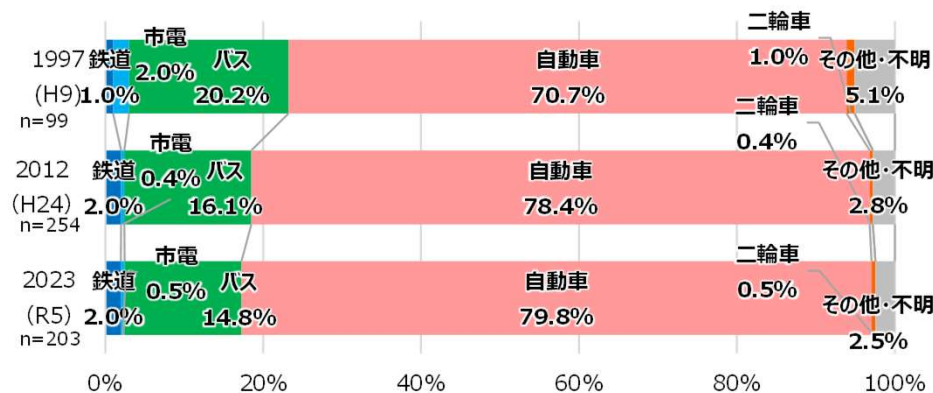
都市圏内アクセスイグレス手段（JR熊本駅）



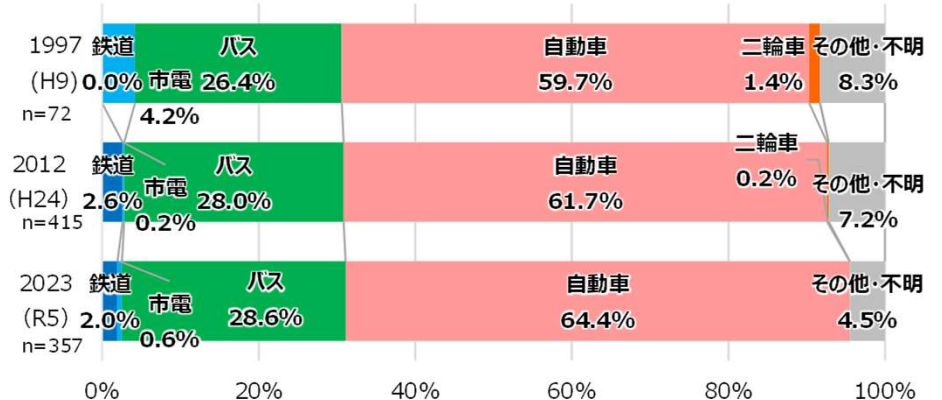
都市圏外アクセスイグレス手段（JR熊本駅）



都市圏内アクセスイグレス手段（阿蘇くまもと空港）



都市圏外アクセスイグレス手段（阿蘇くまもと空港）



※都市圏内とは、居住地が熊本都市圏
※都市圏外とは、居住地が熊本都市圏外

※アクセス：そこまでの交通手段
イグレス：そこからの交通手段

※代表交通手段で交通手段分担率を算出。
代表交通手段の優先順位は、鉄道、市電、バス、自動車、二輪車、徒歩。

本日の内容

1. 要綱の改定について
2. これまでの協議会について
3. 実態調査（パーソントリップ調査）結果
 - (1) 回収結果
 - (2) 調査結果
 - ① 本体調査
 - ② 付帯調査
 - ③ 補完調査
 - (3) 公表方法
4. 今後のスケジュール

3. 実態調査結果（3）公表方法

- 集計データは、都市交通調査PF及び協議会HPに掲載予定

都市交通調査プラットフォーム

調査・分析ツール 調査・活用事例・Tips ニュース 都市交通調査プラットフォームとは

都市交通調査データ活用サイト
国土交通省

都市交通調査 プラットフォーム



最新情報 3 / 3

View all

都市交通調査データ活用サイト 国土交通省
都市交通調査プラットフォーム

調査・分析ツール 調査・活用事例・Tips ニュース 都市交通調査プラットフォームとは

熊本都市圏
社会情勢の変化などを踏まえ、パーソントリップ調査を実施

アクティビティベースモデル 普段の生活に関する調査 WEB回答者へのインセンティブ

第4回調査から約10年が経過し、交通に関する施設整備、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う新しい生活様式、ICT等の新技術、様々な計画の策定などの社会情勢の変化などもあり、交通状況に大きな変化が生じています。将来の都市圏交通のあり方を検討するにあたり、現況分析・将来予測及び現在のマスタープランの検証を行い、社会情勢の変化に対応した施策の見直しを行うため交通実態を把握するパーソントリップ調査を実施しています。

2022年度 事前検討（課題の整理、調査方法、調査内容等）
2023年度 事前検討・実態調査

熊本県土木部建設都市局都市計画課
096-333-2524

熊本県建設局都市政策部都市政策課
096-328-2502

紹介WEBサイト

集計データダウンロードツール（試行版）

集計項目

利用時の留意点

ゾーン図

ゾーンデータ

ゾーンコード表

システム更新履歴

ログアウト

基礎集計

▶こちらのページでは、基礎的な集計項目を確認できます。
ゾーン区分はゾーン図とゾーンコード表をご確認ください。

基礎集計				
都市圏PT	集計項目	備考	詳細情報	集計表
仙台都市圏PT（H29）	外出率	a-1 居住地ゾーン別性別年齢別外出率	表示	表示
仙台都市圏PT（H29）	原単位	b-1 ゾーン別目的種類別代表交通手段別原単位	表示	表示
仙台都市圏PT（H29）	発生量・集中量	c-1 ゾーン別目的種類別代表交通手段別発生集中量	表示	表示
仙台都市圏PT（H29）	OD交通量	d-1 ゾーン別目的種類別代表交通手段別OD表	表示	表示

3. 実態調査結果（3）公表方法

- 集計データは、都市交通調査PF及び協議会HPに掲載予定

(例) 熊本県HP

熊本県
Kumamoto Prefecture

本文へ 文字の大きさ・色の変更 音声読み上げ

防災・くらし・環境 健康・福祉・子育て 観光・心ごと・産業 学び・文化・国際

県政 市・町・村 組織でさがす 土・地・都市計画課 熊本市圏都市交通マスタープラン

熊本市圏都市交通マスタープラン

ページ番号: 0001303 更新日: 2020年8月1日更新

「都市交通マスタープラン」は、パーセントリップ調査などを踏まえ、現状及び将来にわたる都市圏交通の課題に対応するために関係機関が共同で策定する都市圏交通の将来ビジョンです。

概ね20年後を目標年次とし、目指すべき都市構造とそれを支える交通体系のあり方を提案します。

策定主体は、行政・交通事業者及び学識経験者で構成する「熊本市圏総合交通計画協議会」です。

熊本市圏都市交通マスタープラン(本編)

- 表紙、はじめに、目次(PDFファイル:3.4MB)
- 第1章 都市交通マスタープランとは(PDFファイル:21MB)
- 第2章 都市圏交通の現状と将来の展望(PDFファイル:9.5MB)
- 第3章 都市圏の交通ネットワークの将来像(PDFファイル:21MB)
- 第4章 将来の交通体系の考え方(PDFファイル:5.1MB)
- 第5章 将来交通計画(整備方針、主要提案施策)(PDFファイル:12MB)
- 第6章 今後の取り組み(PDFファイル:1.9MB)
- 第7章 巻末資料(PDFファイル:1.2MB)

熊本市圏都市交通マスタープラン(概要版)

熊本市圏都市交通マスタープラン(概要版)パンフレット(PDFファイル:5.3MB)

パーセントリップ調査とは

パーセントリップとは、「人(パーソン)」の「目的を持った移動(トリップ)」を意味します。

パーセントリップ調査とは、日常の生活の中で、誰が、いつ、どこに、何の目的で、どのような交通手段で移動したかについて、都市圏住民を対象にアンケート調査を行い、1日すべての移動をとらえるものです。

平成24年度に、熊本市、菊池市(治水地区のみ)、宇土市、宇城市(不知火、松橋、小川地区のみ)、合志市、大津町、菊陽町、西原村、豊島町、益城町、甲佐町、の市町6町1村にて調査を実施しました。

- 調査結果の概要(PDFファイル:5.7MB)
- 調査結果の概要(Excelファイル:40KB)
- 【参考】その他の調査結果(本調査)(Excelファイル:316KB)
- 【参考】その他の調査結果(意識調査)(Excelファイル:85KB)

※調査結果の使用において、全ての責任は使用者が負うことになります。

熊本市圏総合交通計画協議会とは

熊本市圏総合交通体系調査(パーセントリップ調査及び都市交通マスタープランの策定)を効果的かつ円滑に推進するための組織です。

<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/103/1303.html>

調査結果の概要

1. 調査の概要

- 熊本市を中心とする5市6町1村に対し、郵送配布郵送回収形式(WEB 回収併用)にて調査を実施した。
- 本体調査は市町村別の目標サンプル率を十分に確保できた。また付帯調査についても高い回収率となった。

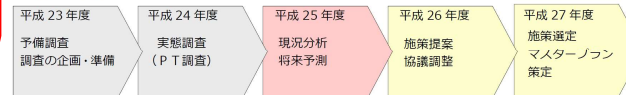
■調査の概要

- 調査地域: 熊本市を中心とする5市6町1村(熊本市圏)
- 調査時期: 平成24年10月～11月
- 調査地域世帯数: 約41万世帯
人口: 約104万人
- ゾーン設定: Aゾーン12、Bゾーン50、Cゾーン213
- 抽出率: 熊本市: 7.4%、西原村: 8.6%、その他: 6.8%
- 対象者: 熊本市圏内の約12万世帯
(8月1日時点の住基台帳無作為抽出)
- 調査方法: 郵送配布・郵送回収
(WEB B回答併用)
- ロット: 基本3ロット+予備ロット
- 目標回収率: 25.0%

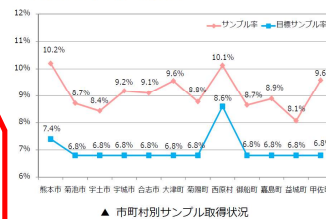


- 有効回収率: 35.1% [43,526 世帯]
- 有効サンプル数: 97,109 [サンプル率 9.8%]

●スケジュール



■本体調査サンプル取得状況



▲市町村別サンプル取得状況

■付帯調査回収率

	都市交通に関する意識調査	住まいに関する意識調査	60歳以上の方の外出に関する意識調査
調査依頼世帯数	12,496	12,492	12,492
対象者	公共交通沿線ゾーン15歳以上の通勤通学者	18歳以上の世帯主	60歳以上の世帯構成員
有効回収世帯数	4,149	5,341	5,454
有効回収率	33.2%	42.8%	43.7%

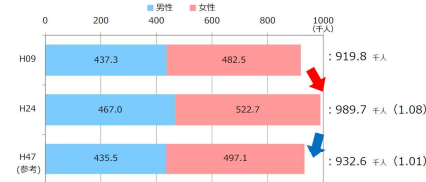
2. 本体調査の概要

- 都市圏人口は、H9 からH24 で増加したが、H47 に向けて減少する。また高齢者人口は増加することが想定される。
- 男性の運転免許保有率は、H9 からH24 で大幅に増加しており、今後は女性も男性と同様に増加することが想定される。

※H47の集計について

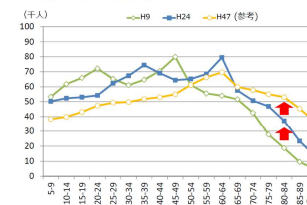
- ・H47(将来)の集計は、拡大係数付与手法(現況マスターデータを将来の人口構成で拡大)により簡易に実施している。

■人口推移

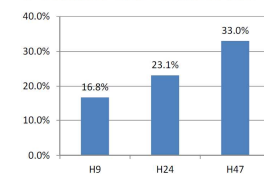


※ () 値はH9を基準とした伸び率

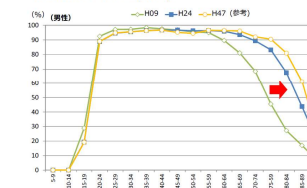
■年齢別人口分布の推移



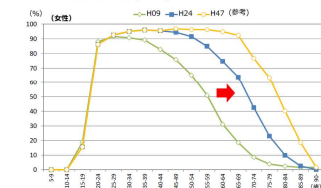
参考: 高齢化率の推移(65歳以上人口割合)



■免許保有率の推移(男性)



■免許保有率の推移(女性)



高齢者の免許保有率の増加 → 増大する高齢者交通への対応

3. 実態調査結果（3）公表方法

- 集計データは、都市交通調査PF及び協議会HPに掲載予定

熊本都市圏総合交通計画協議会HP

<https://kumamoto-pt.jp/>



調査データの提供について



工事中

公表資料について



第5回（令和5年）パーソントリップ調査

■熊本都市圏総合交通計画協議会資料

第1回委員会資料（22/07/07）

・次第

・【別表】 熊本都市圏総合交通計画協議会 委員会名簿（案）

・【資料1】 熊本都市圏総合交通計画協議会 要綱（案）

- 非集計データ（マスターデータ等）は、「将来のまちづくりや交通計画などを検討する目的」で使用する場合のみ貸出

熊本市国際バヤートリップ調査

個人票

(調査実施機関 熊本市国際総合交通計画協議会)

■記入についてのお断り

記入は毎日の乗車記録で、世帯票にご記入の方のうち、5歳以上の方一人ひとりについて記入してください。

①回答は、1日の乗車(帰宅)の乗車に記入してください。

②乗車に必要などについては乗車券、該当する番号などをご確認ください。

③回答欄(表2)に記入する場合は、表1又は表2から該当する数字を選んで記入してください。

この調査は、将来のまちづくりや交通計画などを検討する等の基礎資料を得ることを目的として実施した調査であり、個人情報を後援の機関等に提供し、注意を払ったうえで、活用させていただきます。

表1 移動目的

7. 調査日 ※1 調査の区間に記載の調査日を記入

8. 代理の方が記入される場合、世帯票の何人目に該当されますか。

9. 調査日の外出の有無とはじめにいた場所についてお答えください。

10. 調査日の外出の有無

11. 調査日の在宅時の活動

12. 調査日に在宅勤務/テレワークをしたか

13. はじめにいた場所

14. 移動目的

4. あなたは、世帯票で何人目に該当されますか。

5. 人目

6. 人目

7. 調査日の外出の有無とはじめにいた場所についてお答えください。

8. 調査日の在宅時の活動

9. 調査日に在宅勤務/テレワークをしたか

10. はじめにいた場所

11. 移動目的

1. 目的地

2. 目的地

3. 目的地

4. 移動目的

5. 目的地

6. 目的地

7. 目的地

8. 目的地

9. 目的地

10. 目的地

11. 目的地

12. 目的地

13. 目的地

14. 目的地

1. 目的地

2. 目的地

3. 目的地

4. 移動目的

5. 目的地

6. 目的地

7. 目的地

8. 目的地

9. 目的地

10. 目的地

11. 目的地

12. 目的地

13. 目的地

14. 目的地

1. 目的地

2. 目的地

3. 目的地

4. 移動目的

5. 目的地

6. 目的地

7. 目的地

8. 目的地

9. 目的地

10. 目的地

11. 目的地

12. 目的地

13. 目的地

14. 目的地

1. 目的地

2. 目的地

3. 目的地

4. 移動目的

5. 目的地

6. 目的地

7. 目的地

8. 目的地

9. 目的地

10. 目的地

11. 目的地

12. 目的地

13. 目的地

14. 目的地

1. 目的地

2. 目的地

3. 目的地

4. 移動目的

5. 目的地

6. 目的地

7. 目的地

8. 目的地

9. 目的地

10. 目的地

11. 目的地

12. 目的地

13. 目的地

14. 目的地

1. 目的地

2. 目的地

3. 目的地

4. 移動目的

5. 目的地

6. 目的地

7. 目的地

8. 目的地

9. 目的地

10. 目的地

11. 目的地

12. 目的地

13. 目的地

14. 目的地

1. 目的地

2. 目的地

3. 目的地

4. 移動目的

5. 目的地

6. 目的地

7. 目的地

8. 目的地

9. 目的地

10. 目的地

11. 目的地

12. 目的地

13. 目的地

14. 目的地

1. 目的地

2. 目的地

3. 目的地

4. 移動目的

5. 目的地

6. 目的地

7. 目的地

8. 目的地

9. 目的地

10. 目的地

11. 目的地

12. 目的地

13. 目的地

14. 目的地

1. 目的地

2. 目的地

3. 目的地

4. 移動目的

5. 目的地

6. 目的地

7. 目的地

8. 目的地

9. 目的地

10. 目的地

11. 目的地

12. 目的地

13. 目的地

14. 目的地

1. 目的地

2. 目的地

3. 目的地

4. 移動目的

5. 目的地

6. 目的地

7. 目的地

8. 目的地

9. 目的地

10. 目的地

11. 目的地

12. 目的地

13. 目的地

14. 目的地

1. 目的地

2. 目的地

3. 目的地

4. 移動目的

5. 目的地

6. 目的地

7. 目的地

8. 目的地

9. 目的地

10. 目的地

11. 目的地

12. 目的地

13. 目的地

14. 目的地

1. 目的地

2. 目的地

3. 目的地

4. 移動目的

5. 目的地

6. 目的地

7. 目的地

8. 目的地

9. 目的地

10. 目的地

11. 目的地

12. 目的地

13. 目的地

14. 目的地

1. 目的地

2. 目的地

3. 目的地

4. 移動目的

5. 目的地

6. 目的地

7. 目的地

8. 目的地

9. 目的地

10. 目的地

11. 目的地

12. 目的地

13. 目的地

14. 目的地

1. 目的地

2. 目的地

3. 目的地

4. 移動目的

5. 目的地

6. 目的地

7. 目的地

8. 目的地

9. 目的地

10. 目的地

11. 目的地

12. 目的地

13. 目的地

14. 目的地

1. 目的地

2. 目的地

3. 目的地

4. 移動目的

5. 目的地

6. 目的地

7. 目的地

8. 目的地

9. 目的地

10. 目的地

11. 目的地

12. 目的地

13. 目的地

14. 目的地

1. 目的地

2. 目的地

3. 目的地

4. 移動目的

5. 目的地

6. 目的地

7. 目的地

8. 目的地

9. 目的地

10. 目的地

11. 目的地

12. 目的地

13. 目的地

14. 目的地

1. 目的地

2. 目的地

3. 目的地

4. 移動目的

5. 目的地

6. 目的地

7. 目的地

8. 目的地

9. 目的地

10. 目的地

11. 目的地

12. 目的地

13. 目的地

14. 目的地

1. 目的地

2. 目的地

3. 目的地

4. 移動目的

5. 目的地

6. 目的地

7. 目的地

8. 目的地

9. 目的地

10. 目的地

11. 目的地

12. 目的地

13. 目的地

14. 目的地

1. 目的地

2. 目的地

3. 目的地

4. 移動目的

5. 目的地

6. 目的地

7. 目的地

8. 目的地

9. 目的地

10. 目的地

11. 目的地

12. 目的地

13. 目的地

14. 目的地

1. 目的地

2. 目的地

3. 目的地

4. 移動目的

5. 目的地

6. 目的地

7. 目的地

8. 目的地

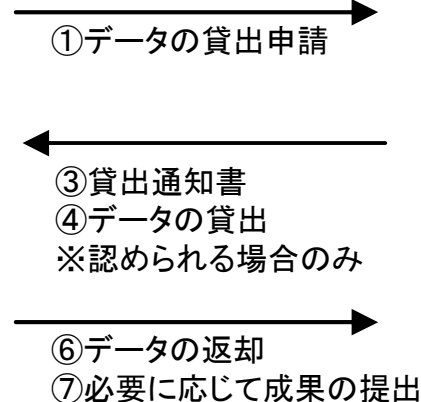
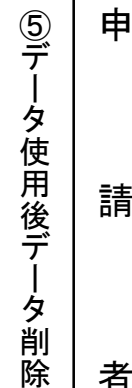
9. 目的地

10. 目的地

11. 目的地

12. 目的地

(案)第5回熊本都市圏パーソントリップ調査データ貸出要領



②使用目的等內容確認

本日の内容

1. 要綱の改定について
2. これまでの協議会について
3. 実態調査（パーソントリップ調査）結果
 - （1）回収結果
 - （2）調査結果
 - ①本体調査
 - ②付帯調査
 - ③補完調査
 - （3）公表方法
4. 今後のスケジュール

4. 今後のスケジュール

- 今年度は主に現況分析・将来予測を実施予定。
- 今後は、将来像や目標の設定に向け、随時、関係者ヒアリング等を行っていく予定。

全体スケジュール



令和6年度のスケジュール

